

平成 30 年度

まちづくり報告書

～愛南町総合計画の進行管理～



平成 31 年 3 月

愛南町

目次

1	まちづくり報告書の基本的な考え方	1
	(1) まちづくり報告書とは	1
	(2) 総合計画と行政評価	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理	2
2	平成 29 年度実績値による評価概要	3
	(1) 施策の成果指標動向 (24 施策 47 指標)	3
	(2) 基本事業の成果指標動向 (97 基本事業 205 指標)	3
	(3) 政策別のまちづくり動向 (252 指標)	4
3	目標達成度による評価概要	5
	(1) 施策の成果指標動向 (24 施策 47 指標)	5
	(2) 基本事業の成果指標動向 (97 基本事業 205 指標)	5
	(3) 政策別のまちづくり動向 (252 指標)	6
4	まちづくりの分野別進行状況	7~187

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

愛南町は、平成16年10月に南宇和旧5か町村が合併し誕生した後、平成18年3月には第1次愛南町総合計画を策定し、平成22年4月には第1次愛南町総合計画後期基本計画を策定するなど、以来総合計画に基づいた町政運営を計画的に推進してきました。

愛南町が誕生し10年近く経過している間に、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化し、加えて、国・地方を通じた厳しい財政状況が今後も見込まれる中、時代の変化や多様化する行政ニーズに対応していくため、第1次愛南町総合計画でのまちづくりの成果状況を踏まえて、引き続いてまちづくりに取り組んでいくため、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定しました。

総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる、町のめざす姿を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。

本書は、平成29年度における施策及び基本事業を評価した報告書です。

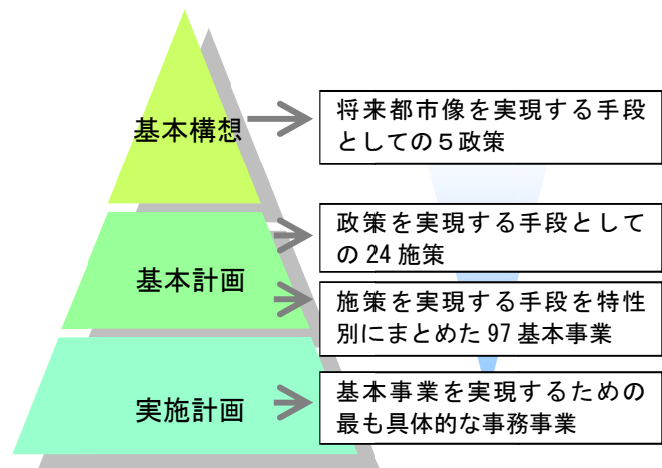


(2) 総合計画と行政評価

第2次愛南町総合計画では、将来像を「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」と定め、この将来像を実現するために5つの政策を掲げ、政策の下には24の施策、97の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置付けられ、施策体系を構成します。

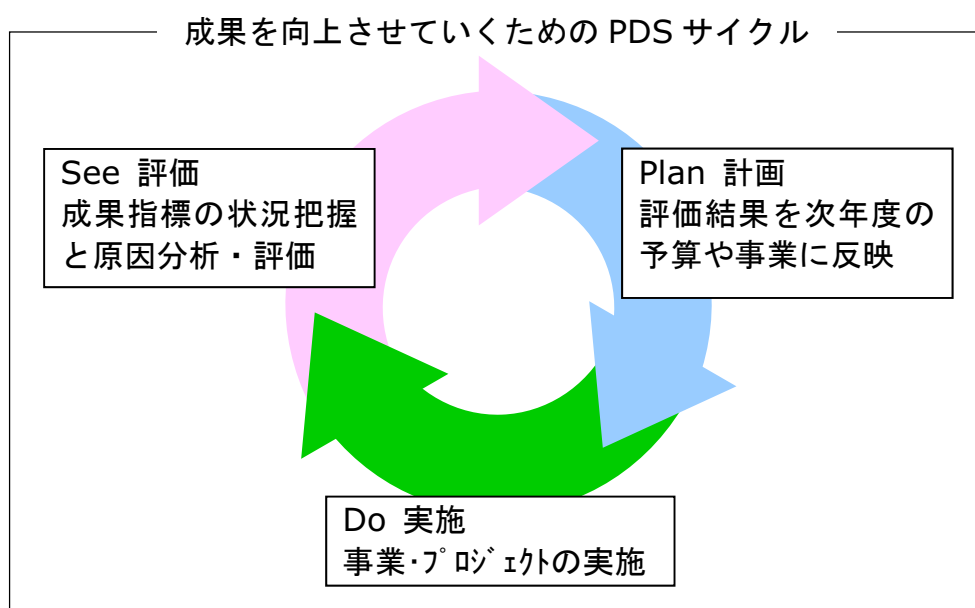
また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取り組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。



(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料として活用し、計画の策定（Plan）、計画の実施（Do）、計画の評価（See）という PDS のマネジメントサイクルを構築するものです。

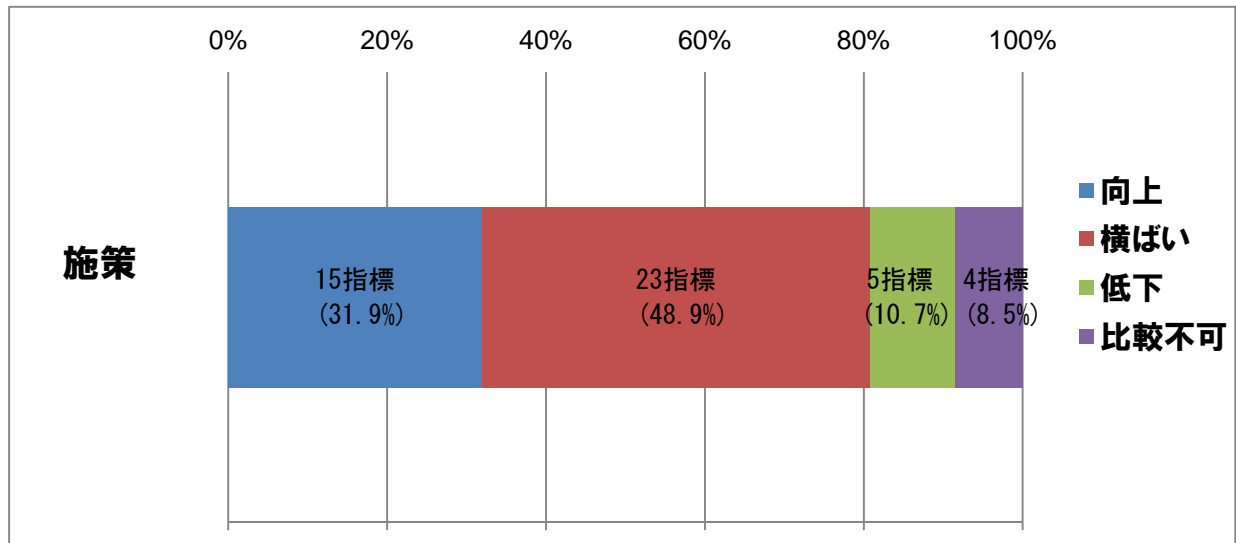


2 平成 29 年度実績値による評価概要

第2次愛南町総合計画で設定した施策・基本事業の 252 の成果指標の平成 28 年度値との比較における進捗状況は以下のとおりとなっています。

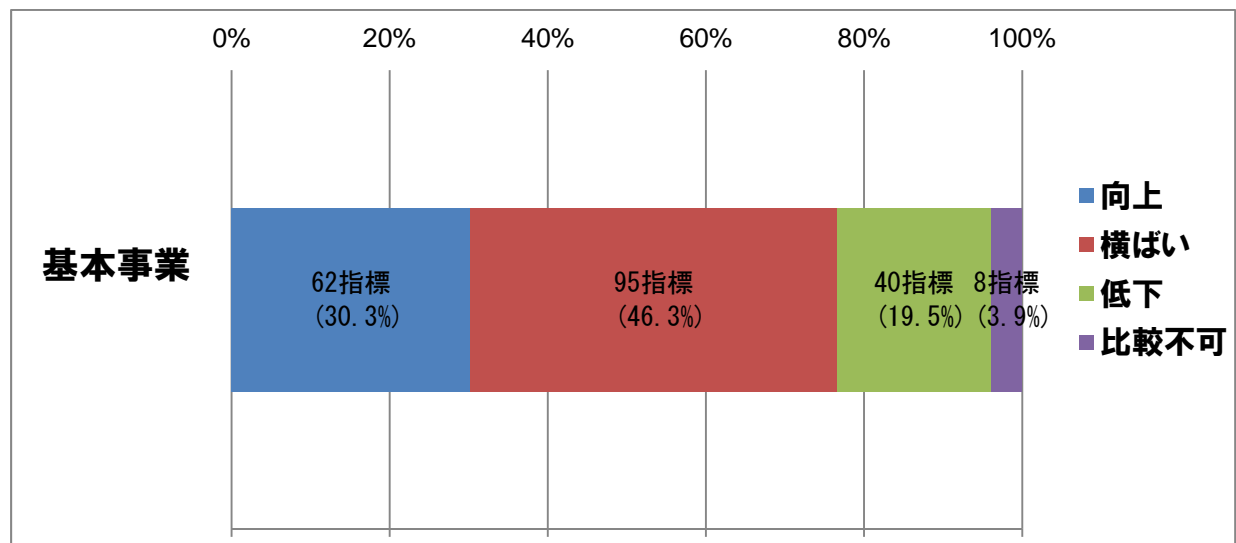
(1) 施策の成果指標動向 (24 施策 47 指標)

24 施策の成果として設定されている 47 の成果指標について、成果が向上し順調な成果をあげていると評価した指標は 15 指標 (31.9%)、実績が横ばいではある指標は 23 指標 (48.9%)、実績が低下傾向にある指標は 5 指標 (10.7%)、比較できない指標が 4 指標 (8.5%) となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向 (97 基本事業 205 指標)

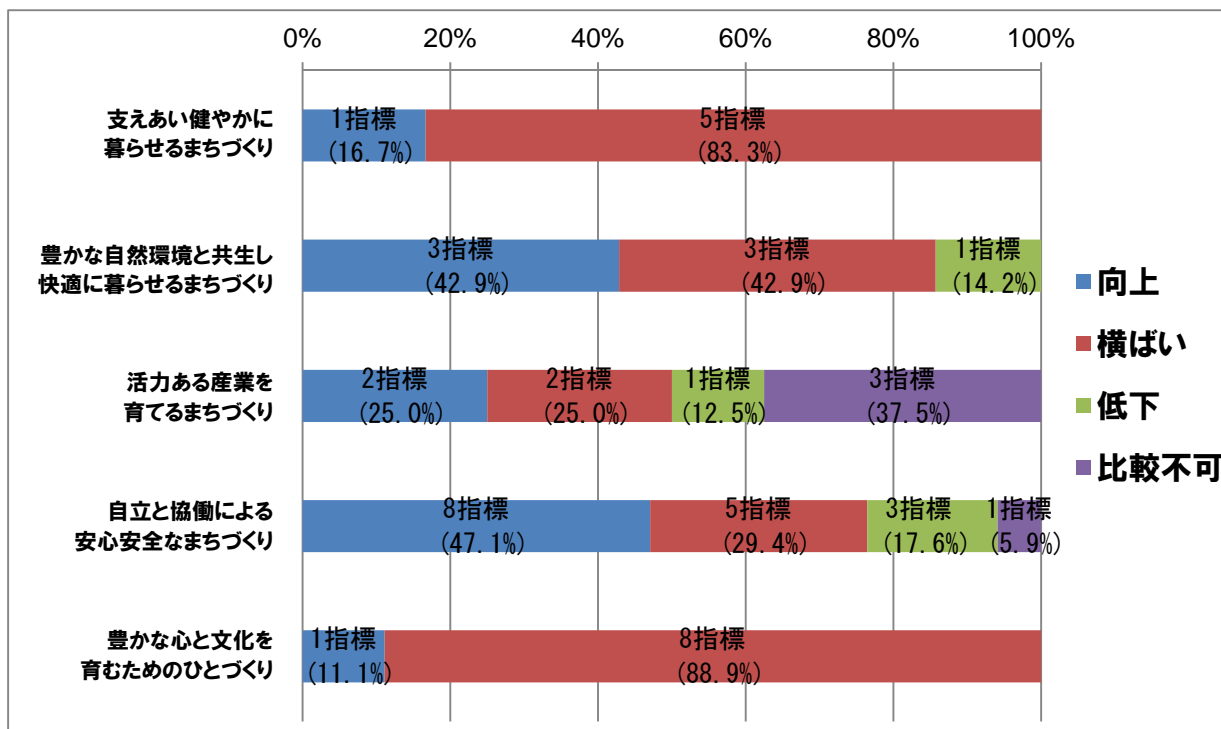
97 基本事業の成果として設定されている 205 の成果指標について、成果が向上し順調な成果をあげていると評価した指標は 62 指標 (30.3%)、実績が横ばいの指標は 95 指標 (46.3%)、実績が低下傾向にある指標は 40 指標 (19.5%)、比較できない指標が 8 指標 (3.9%) となっています。



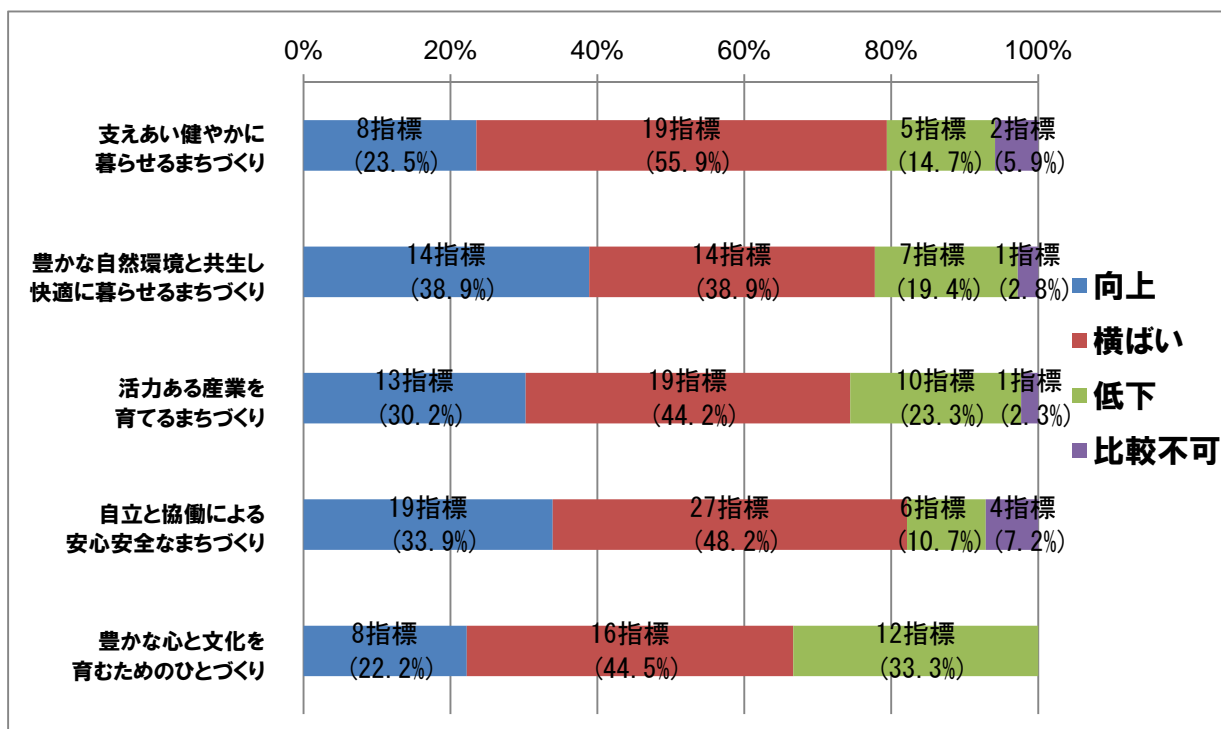
(3) 政策別のまちづくり動向 (252 指標)

施策階層では、「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」と「自立と協働による安心安全なまちづくり」分野での成果指標が向上している傾向にあります。また、基本事業階層でも、「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」と「自立と協働による安心安全なまちづくり」分野での成果指標が向上している傾向にあります。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (47 指標)



■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (205 指標)

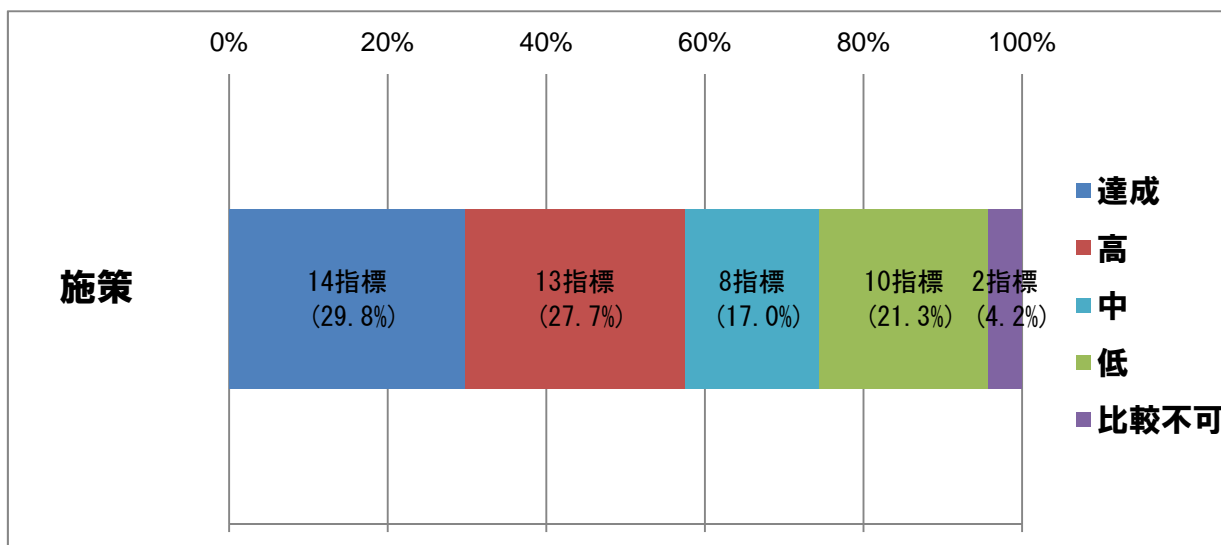


3 目標達成度による評価概要

第2次愛南町総合計画で設定した施策・基本事業の252の成果指標の平成29年度目標値（前期基本計画目標値）との比較における進捗状況は以下のとおりとなっています。

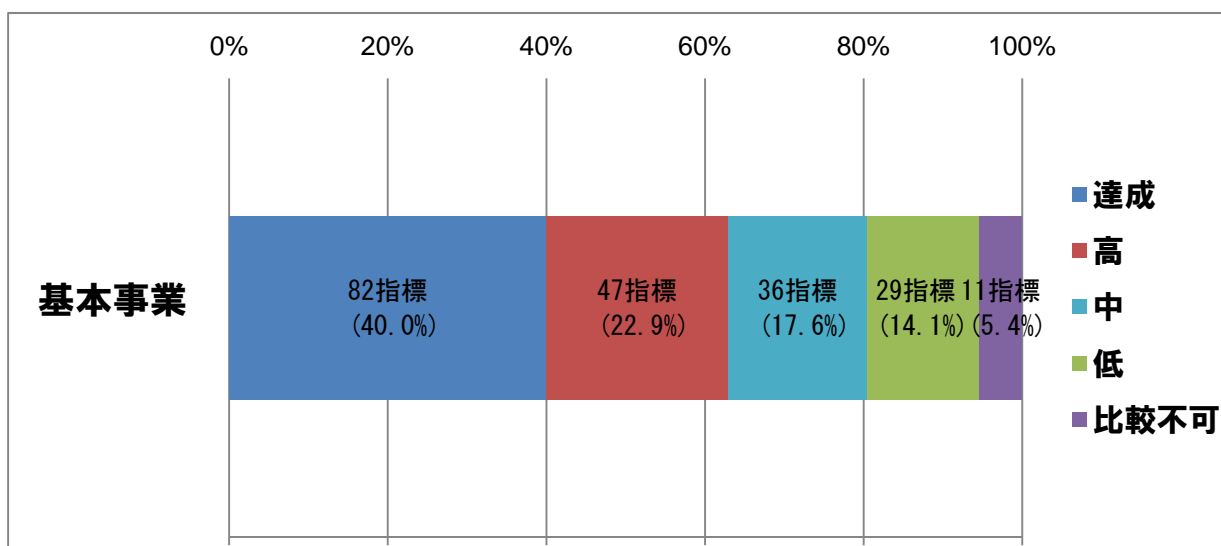
(1) 施策の成果指標動向 (24 施策 47 指標)

24 施策の成果として設定されている47の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は14指標(29.8%)、達成度75%以上(高)の指標は13指標(27.7%)、達成度50%以上(中)の指標は8指標(17.0%)、達成度50%未満(低)の指標は10指標(21.3%)、比較できない指標が2指標(4.2%)となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向 (97 基本事業 205 指標)

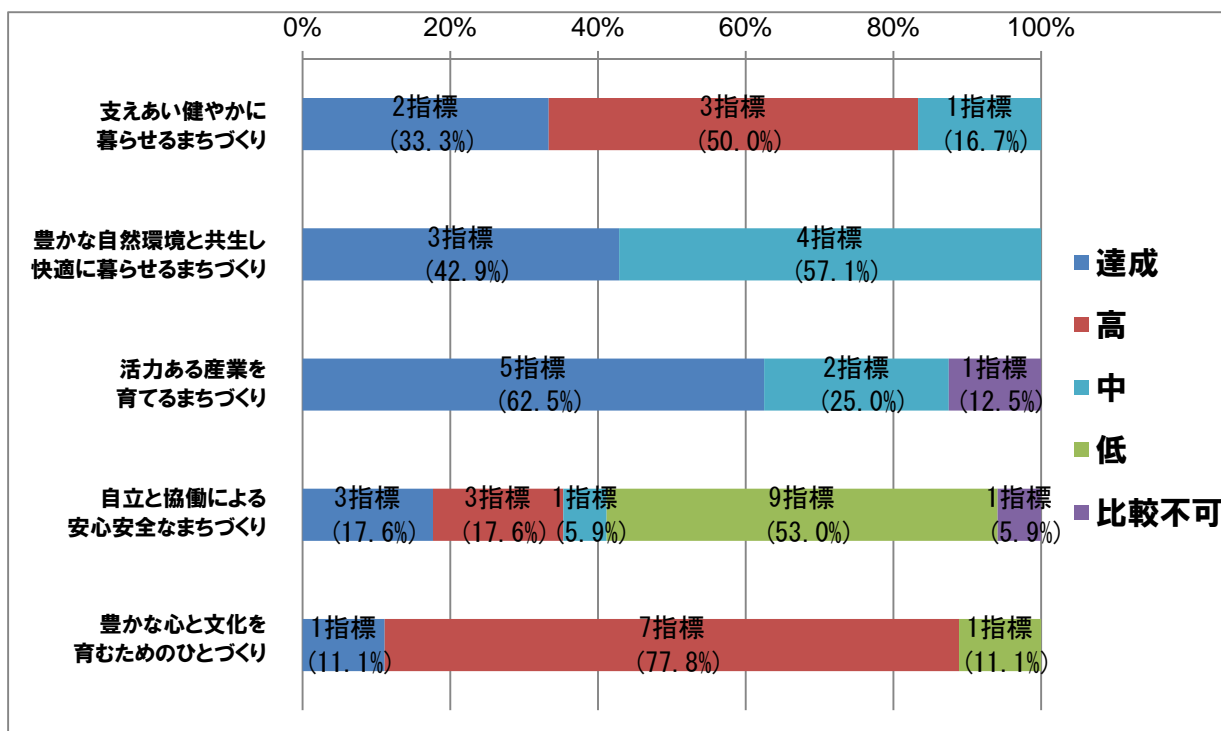
97 基本事業の成果として設定されている205の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は82指標(40.0%)、達成度75%以上(高)の指標は47指標(22.9%)、達成度50%以上(中)の指標は36指標(17.6%)、達成度50%未満(低)の指標は29指標(14.1%)、比較できない指標が11指標(5.4%)となっています。



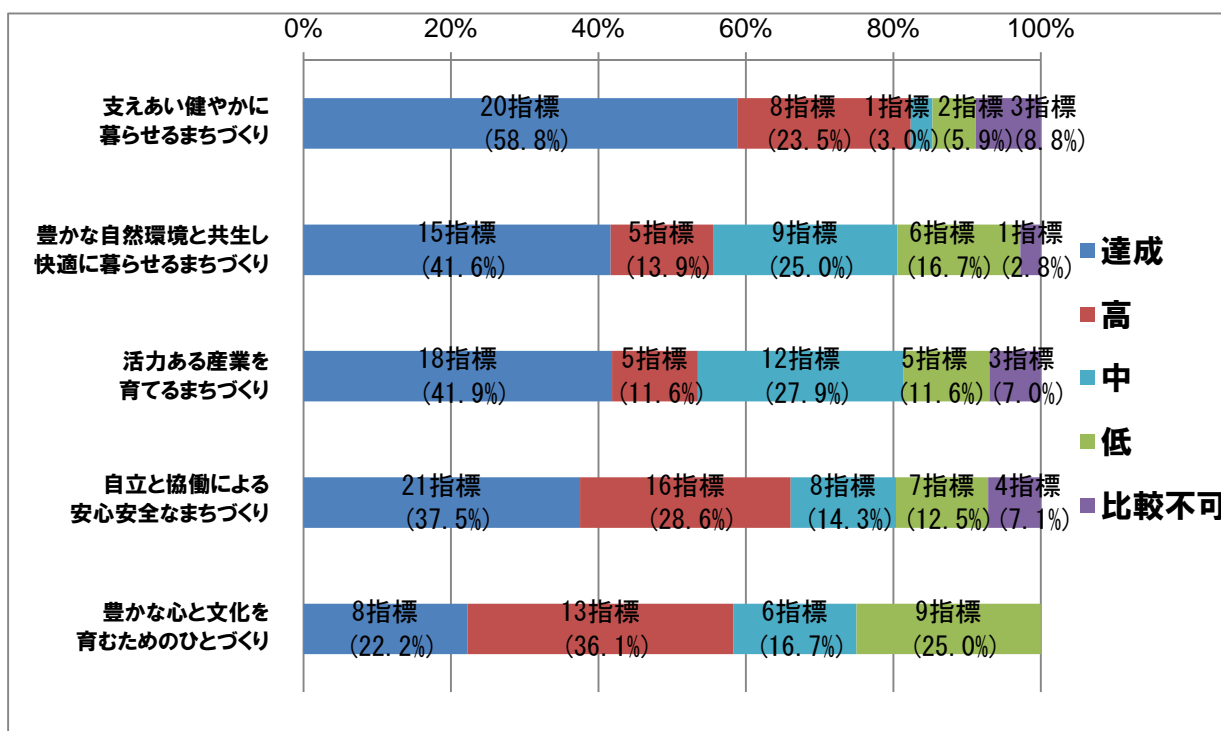
(3) 政策別のまちづくり動向 (252 指標)

施策階層では、「活力ある産業を育てるまちづくり」分野で目標達成度が高い傾向にあります。また、基本事業階層では、「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」分野で目標達成度が高い傾向にあります。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (47 指標)



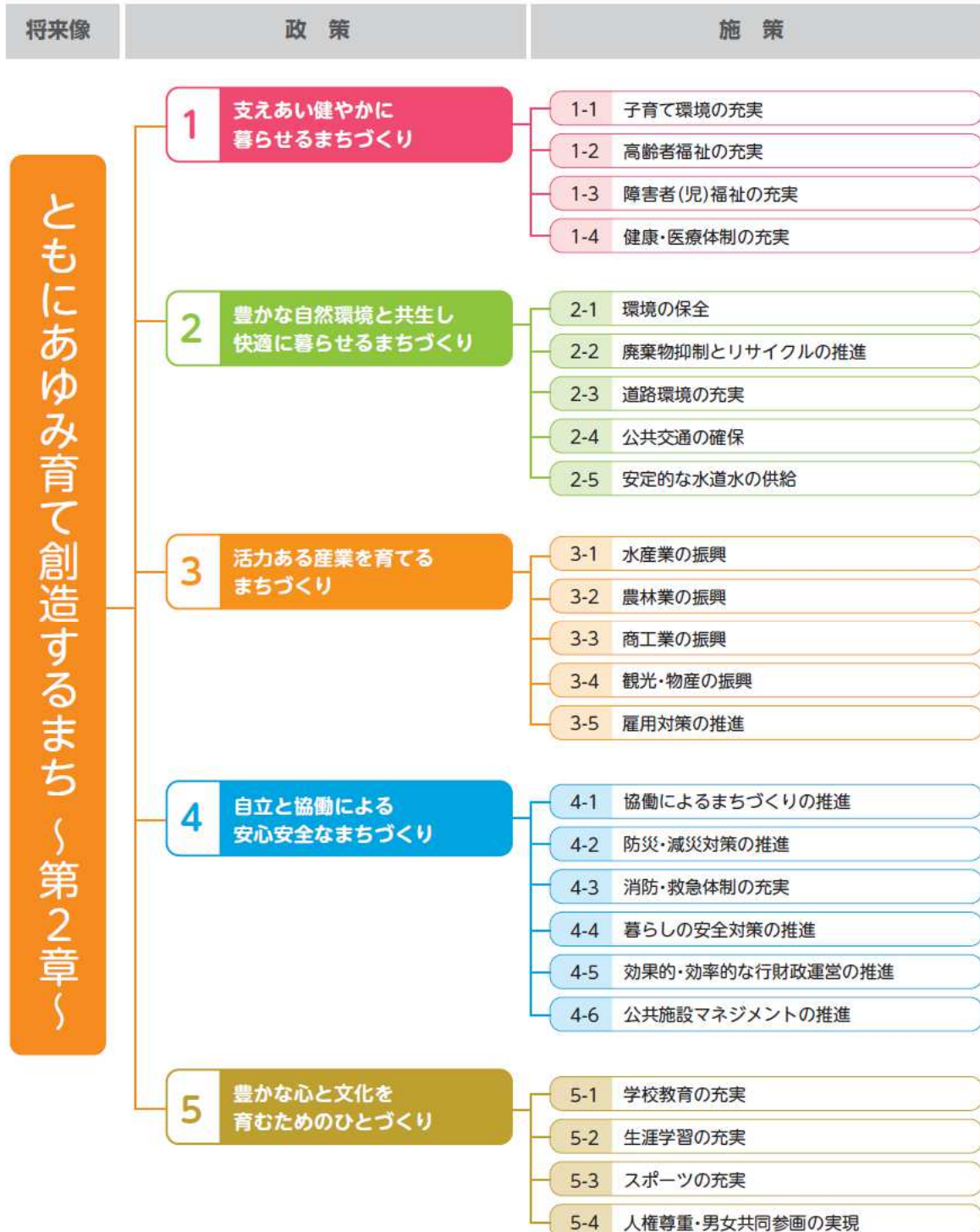
■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (205 指標)



4 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、24の施策、97の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 子育て環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業 01-01-03 独身男女に対する出会いの場の提供

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

現況として保育所の入所児童数は平成29年度末546人（広域受託児童除く。）と、長期的に見て減少傾向にあります。待機児童は発生していません。統廃合した保育所はありませんでした。保育料の第2子無料化を平成28年度から実施し、保護者の経済負担軽減に努めています。課題として、統廃合検討時には、小規模にしつつ施設を維持する、行政効率化を優先して統合する、保護者の送迎負担に考慮するなど総合的な判断が必要です。施設の老朽化も進んでいるため計画的な修繕等が必要です。

現況として、愛南町で開設されている3か所の放課後児童クラブの利用児童数は、平成29年度末現在で106名となっており、年度当初はうち2か所で定員は超えています。課題として、国の放課後子ども総合プランの趣旨である「全ての児童に安全・安心な居場所の確保」に向けて、放課後子ども教室事業との連携、指導員の人材確保等をいかに進めるか引き続き状況を確認しながら検討していく必要があります。

平成27年国勢調査の結果から30代前半で男性2人に1人、女性3人に1人が未婚の状況で、若い世代の独身率は年々上昇傾向にあります。しかし、町が実施したライフデザイン調査(平成27年実施)では、3人に2人が結婚を望んでおり、独身である理由として、適当な相手に巡り合わないが男女ともに第1位となっています。若い世代がよきパートナーと巡り合うためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場を提供していく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.00 (2.96)	3.02 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.79 (3.65)	3.81 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	安心して子育てができる環境を整えます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【保健福祉課】	%	94.2	95.8	94.1	95	
評価	<p>(状況) 平成29年度は94.1%で、前年に比べて1.7ポイント減少しました。前期目標値には少し届きませんでした。統計誤差の範囲と考えられます。</p> <p>(原因) 高い指標値で数値を維持していることから、保護者の需要に対して、子育て環境にかかるサービス提供は大部分で充実できていると考えます。今後指標値を向上させるには、より個々の少数な意見要望に対応する必要があると思われます。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

施策のコスト（千円）

H28	H29
1,025,186	1,078,106

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 保育サービス等の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
--	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	保育所を利用している保護者の満足度 【保健福祉課】	%	96.9	97.6	96.6	96	(横ばい)
	(状況) 平成29年度は96.6%で、前年に比べて1ポイント減少しましたが、前期目標値を達成しました。 (原因) 本町では待機児童なく児童の受け入れができており、提供している各種の保育サービスの充実により、保育ニーズを満たしていると考えられ、前年度に比べて若干の減少はあったものの統計誤差の範囲と考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標②	学童保育を利用している保護者の満足度 【保健福祉課】	%	96.8	99.1	99.3	97	(横ばい)
	(状況) 平成29年度は99.3%で、高い保護者の満足度を維持しており、目標値を達成できています。 (原因) アンケートの結果、子どもへの接し方や保護者への情報伝達等で保護者の高い満足度を得られており、それらが指標値に繋がったものと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
211,796	249,453

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子育て中の世帯（15歳未満の子どもの保護者）	基本事業がめざす姿 子育ての不安や悩みを取り除きます。
--	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	子育てに関する不安や負担を感じている保護者の割合 【保健福祉課】	%	10.1	6.9	6.8	10	
評価	(状況) 前年に比べて0.1ポイント向上しているものの横ばいの状況です。前期目標の10%は達成しました。 (原因) アンケートの結果、経済的な面及び仕事と子育ての両立の面で不安を感じている保護者が一定数いますが、病児保育事業や保育料の第2子無料化などの町の施策を通して、不安をある程度解消できてきたのではないかと思います。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標②	近所の人や友達に子どもを預かってもらえる保護者の割合 【保健福祉課】	%	60	66.1	65.9	80	
評価	(状況) 前年に比べて0.2ポイント減少していますが、横ばいの状況です。基準値よりは向上していますが、前期目標値の80%には届きませんでした。 (原因) アンケートの結果、前年より減少していますが、回答数が若干少なく集計規模が小さいため、統計誤差と思われます。祖父母と同居していない、祖父母が現役で働いている等、一定の割合で対象者は発生すると見込まれます。						(横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
401,441	394,705

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-03 独身男女に対する出会いの場の提供

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 20歳以上の独身者	基本事業がめざす姿 町内における成婚率を高め、本町の人口増及び地域活性化につなげます。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	出会いの場を提供してカップリングした組数 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		組	11	39	45	30	
評価	(状況) 平成28年度と平成29年度の比較においては、11組と6組で5組減少していますが前期目標値は達成しています。 (原因) 平成28年度から事業の委託を行ったこと、婚活イベントを年に2回行うことにより、カップリングした組数を大幅に増やすことが出来ました。今後も、参加しやすい婚活イベントを行えるよう、工夫する必要があります。					(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,663	1,479

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
410,286	432,469

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

平成29年4月1日現在の高齢化率は40.2%で、平成37年には49.3%になると推計されています。限界集落が存在する中、地域力が低下する傾向にあり、高齢者が生きがいや役割を持ち続け、地域の支えあいの中で自立して生活することができるような施策が必要となっています。

現在、高齢者がいつまでも自立した生活が送られるよう、予防事業で運動機能の改善及び口腔機能の向上や栄養改善に努め生活機能の維持・向上を図り、地域において高齢者が主体的に介護予防に資する活動が継続できるように取り組んでいます。

平成29年4月1日現在の認知症高齢者の出現率は、14.1%で昨年と比べてほぼ横ばいですが、今後は高齢化の進展に伴い増加することが予測されます。高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、認知症に対する理解を深め、見守りの体制を整えていく必要があります。

元気高齢者の割合が増え、地域の身近な場所に高齢者が集える場所があり、見守りや支えあいの仕組みづくりの必要性を住民や地域の関係機関と共有し、地域の実情に合ったサービスメニューを検討していくことが課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.89 (2.96)	3.01 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.90 (3.65)	3.84 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
65歳以上高齢者、家族、地域住民	高齢者が健康で、生きがいを持って住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	自立高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【高齢者支援課】 1号被保険者の中で介護認定を受けていない方の割合	%	78.5	79.2	79.1	78.5	
評価	<p>(状況) 平成29年度の元気高齢者の割合は79.1%で前年と比べてほぼ横ばいとなっており、前期計画目標値にも達しています。高齢者人口及び要支援・要介護認定者数は、ともに微増の状況にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険第1号被保険者数 9,052人 介護保険第1号被保険要介護・要支援認定者数は 1,895人 <p>(原因) 元気高齢者が増加していると捉えてよいと考えますが、原因についてはさまざまな要因があるため、特定の要因とすることはできません。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>	

施策のコスト (千円)

H28	H29
3,877,079	3,963,736

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>高齢者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>日常生活支援サービスを受けることで安心して暮らすことができます。</p>
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種サービス受給者の満足度	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【高齢者支援課】	%	93.3	94.1	96.0	-	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は96.0%で、前年と比べてもほぼ横ばい状態です。基準値を超えている状態は継続しており、各種サービスを受けている人の満足度は順調に推移しています。</p> <p>(原因) 平成29年度から福祉タクシーの拡充をしたことも含め、利用者や家族介護者の支援のために行っている各種事業がより良い支援となり、満足度の向上に結びついてきていると考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>---</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
129,214	132,348

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>在宅の要介護者とその家族</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>家族の介護負担の軽減と住み慣れた地域で過ごすことができます。</p>
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	介護サービス利用者のうち居宅サービス利用割合 【高齢者支援課】	%	73.1	79.5	79.7	75.0	
	<p>(状況) 平成29年度は79.7%で前年と比べてほぼ横ばいですが、前期計画目標値は4.7ポイント増加しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス利用者計 (延べ) 21,643人 うち居宅サービス受給者 17,247人 <p>(原因) 地域包括ケアシステムの進展により、施設介護から在宅で必要なサービスが受けられるなど、制度への理解や周知の効果が少しずつ表れてきています。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
24,917	27,353

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動を通じて、心の豊かさや生きがいを持った生活を送ることができます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	生きがいをもっている高齢者の割合 【高齢者支援課】	%	60.8	65.2	67.7	70.0	
評価	(状況) 平成29年度は67.7%で、前年に比べて2.5ポイント増加しました。前期計画目標値には届きませんでしたが、おおよそ3人に2人の高齢者は生きがいをもって生活しており順調に推移しています。 (原因) アンケートの結果、趣味・娯楽、仕事、健康・スポーツ活動及び地域活動に生きがいを感じており、介護予防普及啓発事業や地域介護予防活動支援事業を通じて地域づくりや仲間づくりができていると考えられます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
7,659	7,627

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

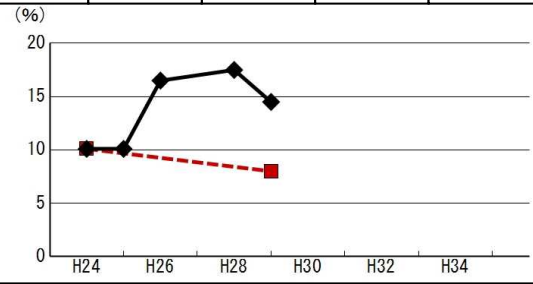
基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	相談相手がない高齢者の割合	%	10.1	17.5	14.5	8.0	(向上) 目標達成度 (高)
	(状況) 平成29年度は14.5%で、前年に比べて3ポイント向上しています。相談相手のない高齢者の割合は減少していますが、前期計画目標値には届きませんでした。基準値からは4.4ポイント低下していますが、相談相手のいる高齢者は増加しており順調に推移しています。 (原因) 家族や友人、近隣住民以外にも、地域に相談できる人や機関があることを知らない高齢者がいることが考えられ、広く周知する必要があると思われます。						



基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,093	4,221

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	高齢者	基本事業がめざす姿	要介護・要支援に陥るおそれのある高齢者が要介護・要支援状態となることを予防します。 高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができます。
---------	-----	-----------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	介護予防や健康づくりに心がけている高齢者の割合 【高齢者支援課】	%	91.6	83.6	84.1	93.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は84.1%で、前年と比べてほぼ横ばいとなっています。前期計画目標値に8.9ポイント届いておらず年々低下の傾向にあります。 (原因) 効果的な介護予防普及啓発事業や地域介護予防活動支援事業が、継続的に実施されていないことが考えられるため、必要な情報を手に入れたり支援を受けたりできる取り組みが必要と思われます。						目標達成度 ■ (高)
指標②	要支援認定者の新規該当者の平均年齢 【高齢者支援課】	歳	82.2	82.0	82.0	82.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は82歳で、前年度と比べて横ばいとなっています。前期計画目標は達成しており、新たに要支援認定を受ける高齢者の平均年齢は緩やかに伸びています。 (原因) 介護予防や健康づくりに84%の高齢者が取り組み、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活が送れているためと思われます。						目標達成度 ■ (達成)
指標③	要介護認定者の新規該当者の平均年齢 【高齢者支援課】	歳	81.3	84.0	82.0	82.0	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は82歳で、昨年度と比べて2歳低下していますが、前期計画目標は達成しており、新たに要介護認定を受ける高齢者の平均年齢はほぼ横ばいとなっています。 (原因) 介護予防や健康づくりに84%の高齢者が取り組み、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活が送れているためと思われます。						目標達成度 ■ (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
9,381	38,644

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者	基本事業がめざす姿 要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して在宅での生活ができます。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	在宅サービス利用者の割合 【高齢者支援課】	%	45.5	57.9	54.5	55.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は54.5%で前年と比べてほぼ横ばいとなっており、前期計画目標値には、僅かに達していない状況です。 ・居宅介護・介護予防サービス受給者数 1,033人 ・要介護・要支援認定者数 1,895人 (原因) 地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知が行われており、在宅介護サービスを選択する利用者の割合が少しずつ増えています。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標②	地域密着型サービス利用者の割合 【高齢者支援課】	%	8.5	22.2	21.7	9.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は21.7%で前年と比べてほぼ横ばいとなっていますが、前期計画目標値に対して比較不可となっています。 ・地域密着型介護・介護予防受給者数 411人 ・要介護・要支援認定者数 1,895人 (原因) 平成28年度の制度改正に伴い、対象サービスの増加のため、利用者数が増加しましたので、前期目標値に乖離が生じたため、比較することが困難であると考えています。						(横ばい) 目標達成度 ---
指標③	施設入所者のうち要介護度4・5認定者の割合 【高齢者支援課】	%	72.8	69.2	70.8	75.0	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は70.8%で前年と比べてほぼ横ばいとなっており、前期計画目標値にも達しています。 ・施設入所者4,396人のうち要介護度4・5の人数は3,114人 (原因) 地域包括ケアシステムの進展によって、制度やサービスが周知され、重度でも在宅で介護する方向に変わってきています。						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
3,422,201	3,445,667

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
282,614	307,876

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

障害者総合支援法は、障害者手帳を持っていない発達障がいや難病のある者等も含め、障がいや社会的障壁によって日常生活や社会生活が困難になっている総ての者を障がい福祉サービスの対象に広げました。また、長期にわたり障害福祉サービスを利用していた者が介護保険制度の対象になった場合であっても、適切なサービスが引き続き提供できるような配慮を行なうことになっています。さらに、児童福祉法や発達障害者支援法の改正等、共生社会の実現に向けた新たなサービスが創設されています。

障害者総合支援法施行から5年で相談支援事業委託整備は進み、計画相談実施率100%で障害福祉サービスの利用者は急増しており、ある程度の成果を上げることができました。

今後は、新たに創設されたサービスを加えた支援やより質の高い専門性のある相談体制の整備が求められています。地域自立支援協議会及びその専門部会の運用を充実させ、障がい者の地域生活を支援する機能の集約を行う拠点等の整備が急がれます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.93 (2.96)	2.96 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.71 (3.65)	3.72 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
障害者(児)	障害者(児)が在宅で安心して生活し、社会参加が出来るようになります。

施策の成果状況と評価

指標	在宅で生活している障害者(児)の割合	単位	基準値	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H29)	指標のうごき
①	【保健福祉課】	%	88.6	90.1	88.5	90	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は88.5%で前年度より1.6ポイント減少しています。基準値との差異はなく、前期目標値に届きませんでした。障害者手帳所持者1,372人のうち、障がい支援施設入所者は86人、老人福祉施設入所者は72人です。</p> <p>(原因) 前期計画期間中に精神科病院からの地域移行は進みましたが、高齢障がい者の在宅生活が難しくなっている事が推察できます。保健・医療・介護保険部署と連携し、安心して地域で暮らす事のできる在宅サービスの充実や住居の整備などを今後も進めます。</p>					目標達成度 (中)	

施策のコスト(千円)

H28	H29
723,325	756,034

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 障害者（児）とその家族	基本事業がめざす姿 障害に関する相談を受けられることにより、必要な情報を得たり不安を解消できます。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき															
指標①	健診・相談によって早期発見された要支援者数 【保健福祉課】	人	27	46	57	25	(向上)															
評価	(状況) 健診を受診した343人のうち要支援の所見は57人で、発見率は16.6%でした。前年度と比較すると11人増加し、前期計画基準値・目標値より倍増しており、早期発見の体制整備はほぼ完了したようです。 (原因) 今後は、早期介入の体制を支援機関と連携して整備しなければなりません。例えば何をもって介入・支援するか具体的な方法を共有できるように発達検査の導入を行うなどが必要です。特に、5歳児健診後から就学に向けての介入は、在学中から卒業後への支援に影響をおよぼしますので、きめ細かく集中して支援することが望まれます。後期計画では指標を変更します。	<table border="1"> <caption>Indicator 1 Data</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>27</td><td>25</td></tr> <tr><td>H26</td><td>38</td><td>25</td></tr> <tr><td>H28</td><td>46</td><td>25</td></tr> <tr><td>H29</td><td>57</td><td>25</td></tr> </tbody> </table>					Year	Actual Value	Target Value	H24	27	25	H26	38	25	H28	46	25	H29	57	25	(達成)
Year	Actual Value	Target Value																				
H24	27	25																				
H26	38	25																				
H28	46	25																				
H29	57	25																				
指標②	療育を受けている児童数 【保健福祉課】	人	56	61	64	55	(横ばい)															
評価	(状況) 放課後等デイサービス46人、児童発達支援18人、合計64人が利用しています。前年度と比較すると現状維持の状況ではありますが、前期計画目標値を9人上回っています。 (原因) 事業につなぐ体制はほぼ出来上がっていますが、定員数に対して要支援者や利用希望者が増え、一人当たりの利用回数や中高生の利用を調整しなければならない状況です。また、事業所までの送迎が難しく利用を中断してしまう家庭もあり、きめ細かなサービスの検討が求められています。今後は、事業成果を上げるための事業拡充が必要となっています。	<table border="1"> <caption>Indicator 2 Data</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>56</td><td>55</td></tr> <tr><td>H26</td><td>70</td><td>55</td></tr> <tr><td>H28</td><td>61</td><td>55</td></tr> <tr><td>H29</td><td>64</td><td>55</td></tr> </tbody> </table>					Year	Actual Value	Target Value	H24	56	55	H26	70	55	H28	61	55	H29	64	55	(達成)
Year	Actual Value	Target Value																				
H24	56	55																				
H26	70	55																				
H28	61	55																				
H29	64	55																				

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
48,171	52,475

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
障害者(児)	障害に応じて適正なサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。

基本事業の成果状況と評価

指標①	障害福祉サービス事業の利用者数	単位	基準値	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H29)	指標のうごき
	【保健福祉課】	人	368	438	472	390	<p>(人)</p> <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
評価	<p>(状況) 平成29年度の利用者数は472人で、前年度に比べて34人増加し、前期基準値より104人増加し、前期計画目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 計画相談普及率は100%であり、利用者の生活環境やニーズに応じて総合的にサービスが提供できるようになりました。また、発達障がいや難病のある者、介護保険で対応できないサービスをカバーするなど、障害福祉サービス事業利用対象者の拡大や柔軟な対応が事業の成果向上に結びついたと考えられます。</p>						

指標②	地域生活支援事業の利用者数	単位	基準値	実績値(H28)	実績値(H29)	目標値(H29)	指標のうごき
	【保健福祉課】	人	370	394	391	380	<p>(人)</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
評価	<p>(状況) 利用者数を前年度と比較すると3人の減少に留まり、事業別の差異もほとんどなく現状を維持していますが、前期基準値より21人増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 身体障がい者の高齢化により手帳交付者は前期計画期間中に72件の減少となりました。一方で、障害福祉サービスに係る計画相談の拡充により、相談支援事業の利用者は前年度と比較すると40人増加しています。</p> <p>今後は、気軽に相談が受けられる相談窓口を整備し、障がいの生活ニーズに沿ったサービスが提供できるよう支援を進めます。</p>						

基本事業のコスト(千円)

H28	H29
673,674	701,477

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>障害者(児)、事業者、町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>障害者(児)が社会参加しやすい環境が整え、地域社会の一員であるという意識が醸成します。</p>
-------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	障害者(児)の就労者数	人	-	-	181	160	比較不可 目標達成度 👑 (達成)
評価	<p>【保健福祉課】</p> <p>(状況) 65歳未満の障がい者571人のうち何らかの仕事についている障がい者は、就労A型38人、就労B型76人、一般就労47人、自営業(手伝い含)20人で、合計181人でした。そのうち、福祉就労については、平成25年度と比較するとほぼ倍増しています。また、前期目標値160人を21人上回っており事業の効果はあったと判断できます。</p> <p>(原因) 地域移行支援事業を利用して仕事の形を決める意識が高まりつつあります。アンケート調査の結果、一般就労を希望している者は25.4%で、地元企業、就職支援センター及びハローワークと連携した就労支援が必要です。</p>	(人)					

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	障害者(児)の社会参加率	%	-	-	57.0	60	比較不可 目標達成度 ■ (中)
評価	<p>【保健福祉課】</p> <p>(状況) 社会参加率は57.0%で前期計画開始時より4.5ポイント増加したものの、目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) アンケート調査の結果回答者の29.7%が「障がい者を理由に差別されたり嫌な思いをしたことがたまにある」と回答しています。</p> <p>障がい者の社会参加促進に向け、権利擁護の啓発を地域全体で取り組みます。また、相談体制の強化を図り、権利侵害、虐待の未然防止に努めます。</p>	(%)					

基本事業のコスト(千円)

H28	H29
1,090	1,061

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障害者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
390	1,021

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 心とからだの健康づくり

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高齢化率は41.58%と前年同時期に比べ1.41ポイント増加しています。また、75歳以上の後期高齢者は50%を超えています。高齢化により通院や入院の長期化から医療費の増加も懸念されます。超高齢化社会に向け、健康上の理由で日常生活が制限されることがなく生活できる期間である「健康寿命の延伸」が健康づくりの課題となってきます。平成29年度に健康寿命の延伸を実現するために「第2次愛南町健康増進計画 健康・生きいき・aiプラン」を作成しました。従来の生活習慣病予防に加え循環器疾患や糖尿病の重症化予防に取り組んでいきます。医療体制では、開業医の高齢化も進み、平成29年度末で1医療機関が閉院しました。一方、県立南宇和病院に総合診療・地域包括医療センターが設置され、医療・介護・保健・福祉等関係機関が連携し、超高齢化社会に対応する地域包括ケアシステムづくりに取り組んでいます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.31 (2.96)	2.37 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	4.25 (3.65)	4.24 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療が受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	自分で健康と感じている町民の割合 【保健福祉課】	%	72.3	75.7	76.1	80	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は76.1%と前年度に比べ0.4ポイント増加しています。基準値からも3.8ポイント増加しており、徐々に向上していますが、前期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) アンケートの結果、20代を除くすべての年代で平成26年度を上回っています。特に70歳以上では、14.3ポイント上昇し、高齢者の健康意識の向上が成果向上につながっていると思われます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)
指標②	65歳未満で死亡する町民の割合 【保健福祉課】	%	11.5	8.77	5.5	11	(向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は5.5%と前年に比べ3.27ポイント減少しています。基準値からも6ポイントと大きく改善しています。前期目標値を達成しました。</p> <p>(原因) 65歳未満人口の減少による65歳未満の死亡数の減少も影響すると考えられます。そのため、後期計画では、成果指標値の算出方法を65歳未満の死亡率（65歳未満人口千対）に変更します。</p>						目標達成度 ■ (達成)
指標③	町内の医療体制に対する満足度 【保健福祉課】	%	27.9	28.6	33.1	40	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は33.1%と前年度に比べ4.5ポイント増加しています。基準値からも5.2ポイント増加していますが、前期目標値には6.9ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) アンケートの結果から50歳～64歳、70歳以上において前年度と比べ満足度は上がっています。一方、20歳代～40歳代の若い年齢層では満足度は低下しています。分娩できる医療機関がないことや緊急時の手術等ができないといった医療の課題が、満足度の低下につながっていると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)

施策のコスト（千円）

H28	H29
5,612,758	5,424,268

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり



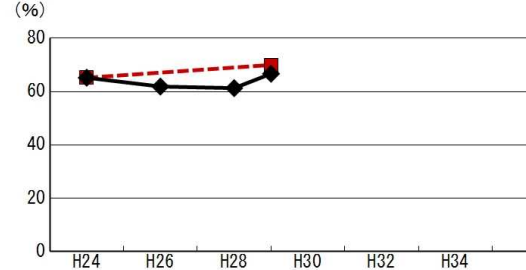
施策 01-04 健康・医療体制の充実


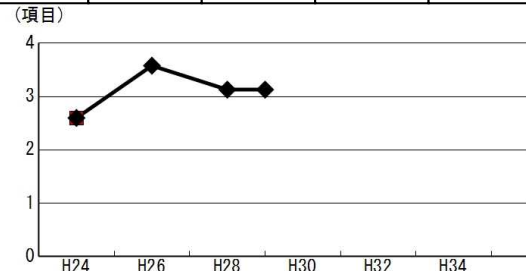
基本事業 01-04-01 心とからだの健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	ストレスを解消する方法を持っている町民の割合 【保健福祉課】	%	65.2	61.3	66.7	70	 (向上) 目標達成度  (高)
評価	(状況) 平成29年度は66.7%で前年度に比べ5.4ポイント増加しています。基準値からは1.5ポイント増加していますが、前期目標値の70%には届きませんでした。 (原因) アンケートの結果から40歳代以上において、前年度を上回っています。壮年期からの健康意識の向上が考えられます。						

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
③	健康づくりの平均実践項目数 (全7項目) 【保健福祉課】	項目	2.6	3.13	3.13	-	 (横ばい) 目標達成度 ---
評価	(状況) 平成29年度は3.13項目と前年度と変化はありませんでした。基準値からは0.53項目増加しています。 (原因) アンケートの結果から、睡眠やたばこの項目について実行している人が増えています。特にたばこについては、30歳代において前年度より、18.4ポイント増加しています。また、何もしていないと回答している人は、0.3ポイント減少しています。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
125,413	119,923

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者	基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。
-----------------------------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費 【町民課】	円	264,179	303,640	314,801	291,000	(低下) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 平成29年度は、平成28年度より11,161円増加し、前期計画目標値より23,801円増加し、前期計画目標値を達成できませんでした。 (原因) 被保険者数は毎年度減少していますが、生活習慣病の発症や重症化、入院を要する治療、長期入院、高額薬剤等による医療給付費の増加が原因と考えられます。						
指標②	国民健康保険税の収納率 【町民課】	%	94.75	96.57	96.99	95	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 収納率は平成28年度に比べ0.4ポイント向上し、前期計画目標値を達成しています。 (原因) 被保険者への課税内容の丁寧な説明や未納者に対する滞納処分の強化等の取組みが前期計画目標値の達成に結びついたと考えられます。						
指標③	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費 【町民課】	円	695,562	710,954	732,981	731,000	(低下) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 平成29年度は、平成28年度より22,027円増加し、前期計画目標値からも1,981円増加し、前期計画目標値を下回りました。 (原因) 被保険者が増加しており、長期的な受診及び重症等による入院治療で医療費が高額になったと考えます。						
指標④	後期高齢者医療保険料の収納率 【町民課】	%	99.56	99.83	99.80	99.5	(横ばい) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 収納率については、昨年度とほぼ同推移であり順調です。前期計画目標値についても達成しています。 (原因) 対象者へ後期高齢者医療制度の丁寧な説明や未納者に対する滞納処分の強化が原因と考えます。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
4,986,212	4,797,922

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>子ども、障害者、ひとり親家庭</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう支援します。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	乳幼児医療費年間助成額	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【町民課】	千円	33,348	32,017	30,146	29,506	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、平成28年度より1,871千円の減となっておりますが、前期計画目標値より640千円の増となっております。前期計画目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 年度平均受給者数は、前期計画策定時より減少していますが、感染症流行等による医療費の増加に伴う年間助成額の増加が原因と考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	
②	【町民課】	千円	752	32,242	29,639	1,125	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、平成28年度より2,603千円の減となっておりますが、前期計画目標値より28,514千円の増となっております。前期計画目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成27年6月診療分から、小中学生の通院助成部分まで助成対象を拡充した取組みが、前期計画目標値の達成に結びついていたと考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	
③	【町民課】	千円	75,031	65,868	66,831	72,302	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、平成28年度より963千円の増となりましたが、前期計画目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 前期計画策定時より、年度平均受給者数が減少していますが、長期的な受診及び重症等による入院治療で医療費が高額になった原因と考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p>	
④	【町民課】	千円	19,921	19,685	19,898	18,384	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、平成28年度より213千円の増、前期計画目標値より1,514千円の増となっております。前期計画目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成27年7月診療分から、父子家庭まで助成対象を拡充した取組みが、前期計画目標値の達成に結びついていたと考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
152,103	148,709

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、医療機関	基本事業がめざす姿 一次・二次救急医療体制の確保と充実に努めます。 町内医療機関の連携を図り、地域医療の充実に努めます。
--------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	一次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【保健福祉課】	人	12	13	13	13	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は前回と同様の13人です。基準値を上回り、前期目標値を達成しています。 (原因) 一次救急に従事する町立病院医師及び南宇和郡医師会の協力体制が維持できていることが要因です。						目標達成度 (達成)
②	【保健福祉課】	人	8	8	10	13	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は10人です。前年度や基準値より2人の増員となっていますが、前期目標値には届きませんでした。 (原因) 県立南宇和病院の医師が6か月交代の短期応援医師から常勤医となっていることから2人増となっています。						目標達成度 (高)
③	【保健福祉課】	人	6	6	6	6	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は前年度と同様に6人です。前期目標値を達成しています。 (原因) 南宇和郡医師会の県立南宇和病院への応援医師が増減なく推移していることが要因です。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
9,400	7,200

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
339,630	350,514

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-01 環境の保全

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業 02-01-02 地球環境の保全

基本事業 02-01-03 環境意識の醸成

基本事業 02-01-04 景観の保全

基本事業 02-01-05 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-06 河川・排水路の機能向上

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

ここ数年、環境意識の高まりを背景に、太陽光発電システムや省エネ家電を購入するなど、環境を意識する町民が増えてきています。また、町内で再生可能エネルギー発電所等が計画されるなど環境施策を取り巻く状況は、大きく変化してきています。

平成19年度に策定した「愛南町環境基本計画」が計画期間の10年を迎えたことから、第1次計画を承継しつつ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するための新たな「第2次愛南町基本計画」を策定しました。今後は、本計画に基づき「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、町民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めてまいります。

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を推進することにより、地球温暖化の防止を図り、地球環境にやさしい持続可能な社会づくりに努めます。

快適な生活環境の向上や美しい河川環境の保全のため、集落排水や浄化槽の生活排水処理施設の整備を進めています。持続的な事業の運営に向け、汚水処理人口普及率の向上やPFI手法による浄化槽整備を推進していきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.10 (2.96)	3.11 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.54 (3.65)	3.55 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、事業者、行政、愛南町の自然	恵み豊かな自然環境を維持し、安全で快適な生活環境を確保し、次世代に引き継ぎます。

施策の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	豊かな自然環境が維持されていると感じる町民割合 【環境衛生課】	%	90.4	90.9	90.1	91	(横ばい)
評価	(状況) 前年度とほぼ変わらず、町民の9割以上が豊かな自然環境が維持されていると感じていますが前期目標値は達成できませんでした。 (原因) アンケートの結果、豊かな自然が維持されていると感じている住民の割合は59歳以下では94.3%であったものの60歳以上になると87.2%と大きく減少しています。						目標達成度 (中)
②	環境にやさしい生活の平均実践率項目数 (全13項目) 【環境衛生課】	項目	6.5	4.40	4.59	7.5	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて0.19ポイント増加していますが基準値を下回り前期目標値は達成できませんでした。 (原因) アンケートの結果、項目数は男性4.10に対し、女性は5.10と大きく女性が上回っています。20~29歳では3.74、70歳以上だと5.06と年齢が上がるほど増加する傾向にあります。かんきょうかわら版等による啓発活動は行っているものの、若い方、男性の方には啓発活動による効果は低いと考えられます。						目標達成度 (中)

施策のコスト (千円)

H28	H29
655,406	762,320

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、愛南町の自然	基本事業がめざす姿 生活・自然環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。
--------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合 【環境衛生課】	%	61.5	65.1	68.6	65	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて3.5ポイント増加し、前期目標値は達成しました。住民は自然や住居の周囲が適正に管理されていると感じています。 (原因) アンケートの結果、適正に管理されていると感じている住民の割合は59歳以下では70%ですが60歳以上になると66.4%に減少します。						目標達成度 (達成)
指標②	公共水域の水質の基準達成率 【環境衛生課】	%	97.6	96.9	96.9	95	(横ばい)
評価	(状況) 前年度からポイントの変化はなく、成果指標値は高く推移しており、前期目標を達成しました。 (原因) 水質については、気温や水量の状況によって数値が大きく変化するため評価は難しいと考えますが、今後も合併処理浄化槽の普及促進に力を入れ、水質保全に努めることが重要であると考えます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
2,928	5,130

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-02 地球環境の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政	基本事業がめざす姿 環境にやさしい行動の推進を通して、地球に優しい持続可能な社会の形成ができます。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南町の消費電力量	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	万kW	10,700	10,160	9,980	10,100	
評価	(状況) 平成29年度は9,980万kWで、平成28年度より120万kW減少し、前期目標値を達成しました。 (原因) 世帯数の減少、省エネ機器の導入等が原因と考えられます。	(万kW)				(向上) 目標達成度 (達成)	
指標	新エネルギー機器の導入件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【環境衛生課】	件	249	376	398	349	
評価	(状況) 前年に比べて22件増加しており、目標を達成しています。 (原因) 平成27年度より対象機器を増やして、新エネルギー機器の購入に補助していることが向上に結びついたと考えられます。	(件)				(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-03 環境意識の醸成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 環境保全に対する意識の高揚を図り、環境にやさしい生活ができる町民が増加します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	新エネルギー・省エネ機器を利用している町民の割合 【環境衛生課】	%	70.4	75.0	77.4	90	(向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 前年に比べて2.4ポイント、基準値からも7.0ポイント増加しており、前期目標値には届きませんでした。大きく向上しました。 (原因) アンケートの結果、省エネルギー機器を利用している住民の割合は、年々向上しており、エネルギー問題への意識が向上していると考えられます。ただし、男性では74.7%、女性では80.1%という結果になっており、特に男性に向けた啓発活動が必要と考えられます。						
指標②	講演会、学習会等への参加者数 【環境衛生課】	人	768	198	427	700	(向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 平成29年度の参加者数は427名で、前年度に比べ229名の増加となっています。前期目標値には届いていないものの、大きく向上しました。 (原因) 例年開催している小中学生対象の環境学習会に加え、町内各地区へ出向き学習会を行ったことが成果向上につながったものと考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
108	49

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-04 景観の保全

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>歴史と文化を大切にしたい愛南町の美しい景観を守り、環境美化活動などにより、快適な環境の保全を推進します。</p>
---------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	愛南町のまちが美しいと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	%	89.6	87.2	87.2	90	(横ばい)
評価	(状況) 指標値は前年度と変わらず目標は達成できていません。 (原因) アンケートの結果、年齢や性別による大きな違いや傾向は見られません。						<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-05 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、公共用水域	基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	汚水処理人口普及率 【環境衛生課】	%	38.2	42.9	44.3	52.6	(向上)
評価	(状況) 前年度と比較すると1.4ポイント増加し、指標値は向上していますが、汚水処理人口普及率は50%未満で前期目標値には届きませんでした。 (原因) 集落排水施設への接続件数は、ほぼ横ばいであるため、浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えます。しかし、近年の浄化槽設置基数の伸び悩みについては、海岸部における未整備戸数が多いことから、設置用地の確保が困難な世帯が設置に踏み切れないことが要因であると考えられます。						目標達成度 (低)
②	農業・漁業集落排水処理施設への接続率 【環境衛生課】	%	78.4	80.6	80.8	82.3	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較して、0.2ポイントの向上と伸び率はわずかで大きな成果として表れていませんが、前期目標値には順調に近づいています。 (原因) 人口減少で家の新築などが減り、設備新設件数が少なくなってきたことや、接続時における高額な工事費用等の負担が伸び悩みの主な要因と考えられます。						目標達成度 (中)
③	合併浄化槽の新規設置基数 【環境衛生課】	基	610	956	1,029	1,000	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比較すると指標値は73基となり、6基減少しているものの、ある程度の成果が継続して出ていると考えます。 (原因) 近年では、設置基数が年間70基から80基程度で推移していることもあり、前期目標値を達成しました。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
321,960	317,769

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-06 河川・排水路の機能向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び利用者、未整備普通河川・排水路	基本事業がめざす姿 未整備普通河川及び排水路を適切に管理し、機能が向上します。
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	河川・水路環境への満足度 【建設課】	%	64.4	66.0	69.7	70	(向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 平成29年度は69.7%で、昨年よりも3.7ポイント増加しています。基準値より向上しましたが、目標値には届きませんでした。 (原因) アンケートの結果、整備・管理されていると感じている住民の割合は39歳以下では87.8%ですが、40歳以上になると68.6%に減少します。軽微な維持補修など以前は地域内で管理できていたものが高齢化等により困難になってきていると考えられます。						
指標②	水路の修繕件数 【建設課】	件	45	35	27	45	(低下) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 平成29年度は27件で前年度より8件減少しました。基準値からは、18件減少しており、目標値には届きませんでした。 (原因) 地区要望等により修繕箇所の整備が図られてきたことが、修繕件数の減少の原因と考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
23,572	43,383

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
306,838	395,989

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町のごみ処理等については、「愛南町一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでいますが、不法投棄やその原因に結びつくポイ捨てごみなどは後を絶たず、町内全域で問題となっています。

不法投棄の防止については、監視カメラの設置や巡視員によるパトロールなどで監視体制の強化を図り、未然に防止できるよう努めます。

町民のごみ分別に対する意識が高く、ルールに沿った正しい分別が行われており、リサイクル率は伸びています。今後も、リサイクルの推進などにより、家庭系ごみや事業系ごみの更なる減量に取り組んでいきます。

平成29年度から宇和島地区広域事務組合環境センターごみ処理施設で共同処理が始まり、収集運搬の体制や分別方法など、ごみ処理を取り巻く環境が大きく変化しました。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.03 (2.96)	3.09 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.52 (3.65)	3.46 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

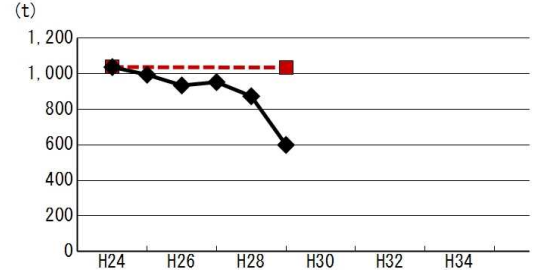
施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、事業者、廃棄物	ごみの排出を抑制し、リサイクルを推進するとともに、ごみを適正に処理していきます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	最終処分量	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【環境衛生課】 (状況) 前年度に比べて274.02 t 減少しており、前期目標値は達成しました。 (原因) 年度途中から宇和島の環境センターでの処理に移行し、焼却灰等のリサイクルが可能となったためです。	t	1,038	874.02	600.00	



施策のコスト (千円)

H28	H29
354,341	195,915

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 ごみの排出を抑制します。
-------------------	---------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【環境衛生課】	g/日	815.1	795.9	739.8	790	
評価	(状況) 前年度に比べて指標値が上がっています。前期目標値は達成しました。 (原因) 人口の減少が主な要因と考えられます。	(g/日)					

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
33,022	22,359

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者	リサイクルを推進します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき															
指標①	リサイクル率 【環境衛生課】	%	20.7	22.0	22.2	22																
評価	<p>(状況) 前年度と比べて横ばい状態ですが、前期目標値は達成しました。</p> <p>(原因) 住民の3R(リデュース(廃棄物の発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))への関心の高まりによる適正な分別やペットボトルなどの資源化対策によるものと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>リサイクル率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>20.7</td><td>22</td></tr> <tr><td>H26</td><td>21.5</td><td>22</td></tr> <tr><td>H28</td><td>22.0</td><td>22</td></tr> <tr><td>H29</td><td>22.2</td><td>22</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H24	20.7	22	H26	21.5	22	H28	22.0	22	H29	22.2	22	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																				
H24	20.7	22																				
H26	21.5	22																				
H28	22.0	22																				
H29	22.2	22																				
指標②	分別資源化活動を行っている町民の割合 【環境衛生課】	%	77.8	58.1	71.1	80																
評価	<p>(状況) 昨年と比べると13.0ポイント増加し、分別活動を積極的に行っている町民の割合が増えていますが、前期目標値の達成は難しい状況です。</p> <p>(原因) リサイクル意識は高く、個人的に行っている方が増えたことが原因と思われます。</p>	<table border="1"> <caption>分別資源化活動の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>77.8</td><td>80</td></tr> <tr><td>H26</td><td>68.0</td><td>80</td></tr> <tr><td>H28</td><td>58.1</td><td>80</td></tr> <tr><td>H29</td><td>71.1</td><td>80</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H24	77.8	80	H26	68.0	80	H28	58.1	80	H29	71.1	80	<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																				
H24	77.8	80																				
H26	68.0	80																				
H28	58.1	80																				
H29	71.1	80																				

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,045	1,327

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

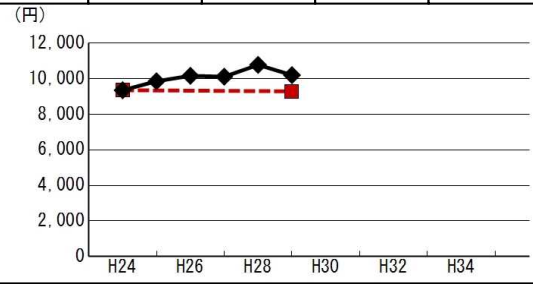
基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政	基本事業がめざす姿 廃棄物を安全かつ適正に処理します。
----------------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	町民一人当たりの廃棄物処理費用	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【環境衛生課】 (状況) 前年度と比較すると指標値が上がっていますが、前期目標値の達成は難しい状況です。 (原因) 人口は減少していますが、施設への搬入量は横ばい状態であり、経常経費に処理量が反映しないものもあり、コストが高くなっています。	円	9,358	10,784	10,209	9,300



基本事業のコスト (千円)

H28	H29
82,977	6,743

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

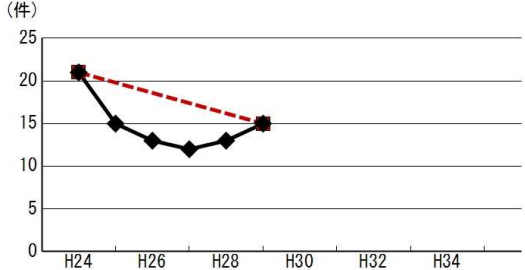

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町域	不法投棄を早期に発見し、未然に防止します。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	不法投棄苦情対応件数 【環境衛生課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	21	13	15	15	
評価	(状況) 苦情件数は前年度から2件増加していますが、前期目標値は達成しました。 (原因) 大規模な不法投棄の苦情は少ないですが、苦情の出にくい少量の家庭ごみが見受けられます。					 目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
237,297	165,486

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

宇和島道路は、平成27年3月に全線開通し首都圏までの所要時間が短縮となりました。
津島道路の津島岩松～内海間の進捗状況は、柏地区において用地買収と並行し28年度から橋梁工事に着手しています。今後は、平成27年度に計画段階評価を進めるための調査箇所を選定された宿毛～内海間について、迅速な対応により計画段階評価を早期に完了するとともに、早期の新規事業化を図るため要望活動を継続する必要があります。

町道においては、地区要望をもとに道路改良、維持・管理の推進に努めていますが、町民の望む道を作るには町民の協力も必要不可欠です。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.72 (2.96)	2.74 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.85 (3.65)	3.85 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、道路利用者、道路	町外への移動時間の短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。

施策の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間 【建設課】	分	132	130	130	130	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p> (達成)</p>
評価	<p>(状況) 平成28年度からの所要時間の短縮はありませんが、前期計画目標値は達成しています。</p> <p>(原因) 平成27年3月に宇和島道路が全線開通し所要時間が短縮しました。以南の津島道路については、平成28年度から内海地区で橋梁工事に着手し、並行して用地買収を順次行っています。</p>						

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	町内の道路環境の満足度 【建設課】	%	64.3	63.5	63.5	65	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p> (中)</p>
評価	<p>(状況) 前期の目標値は65%で1.5ポイント届いていません。指標値は前年と同数で、横ばいの状況です。</p> <p>(原因) 町内の道路は国道、県道、町道、農道、林道等いろいろな道路がありますが、町道だけでも総延長が約538kmあり維持・管理に苦慮しています。町民の協力があれば目標値に限りなく近づくと考えられます。</p>						

施策のコスト (千円)

H28	H29
582,711	713,460

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、道路利用者、四国横断自動車道	基本事業がめざす姿 町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間の短縮され、快適で安全な通行ができます。
-------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	津島道路の開通は、町の発展のために必要と考える町民の割合 【建設課】	%	95.3	91.2	89.5	94	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	(状況) 平成28年度からの指標値は2.1ポイント減少し、前期計画目標値の94%には少し届きませんでした。津島道路の津島岩松～内海間の進捗状況は、柏地区と津島側において用地買収と並行し、28年度から柏地区において橋梁工事に着手しています。 (原因) 平成27年3月に近隣の津島岩松ICが開通し、高速道路の愛南町への早期延伸が身近となり、町民の関心割合の指標値は高いと考えられます。						
指標②	宿毛までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合 【建設課】	%	90	87.9	86.9	90	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	(状況) 28年度からの指標値は1ポイント微減し、前期目標値に届きませんでした。平成30年1月に、内海から宿毛間の第2回四国地方小委員会が開催され、津波浸水想定区域を避ける概略ルート3案が示されています。 (原因) 平成27年度に計画段階評価を進めるために調査箇所に選定された宿毛～内海間について、迅速な対応により、計画段階評価を早期に完了するとともに、早期の新規事業化を図るため、要望活動を実施していきます。						

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
20,389	288,885

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 国道・県道利用者	基本事業がめざす姿 道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	59	64.9	64.3	60	
評価	(状況) 平成28年度からの指標値は横ばいの状況ですが、前期計画目標値を達成しています。 (原因) 国・県道の線形不良整備事業の遅延意識が高くなっていると考えられます。本町は、四国西南地域の中で、国・県道整備が遅れており、産業や経済面の面で立ち遅れを余儀されていることから、引き続き、国・県に道路改良を要望していきます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
14,994	10,972

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町道、道路利用者	基本事業がめざす姿 町民に身近な生活道路を整備し、安全で快適な通行ができます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	69.6	62.1	62.7	70	
評価	(状況) 前回と比較し0.6ポイントの増加ではありますが、前期目標値は70%で7.3ポイント届いていません。 (原因) 町道は総延長が約538kmあり維持・管理に苦慮しています。橋梁点検や道路改良等に経費を掛けているものの、町民の望むものにはなっていないと考えられます。以前は「道づくり」等により道路環境が保たれていましたが、そのような町民の活動が減少傾向にあります。町民に「道を愛する心」をもつていただくと目標値に限りなく近づくと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)
指標	町道の改良率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②		%	47.6	52.0	-	65	
評価	(状況) 指標値の算出基礎である道路台帳の補正を概ね隔年で行っているため、平成29年度は指標値が取得できませんが、前回指標値52.0%を維持している状況と考えると、基準値より4.4ポイント向上しましたが、前期目標値には13ポイント届きませんでした。 (原因) 道路改良は多額の費用を要することから国庫補助事業等を活用し実施していますが、近年国庫補助金の減額等により、規格道路改良工事が困難な状況で予定より進んでいないのが原因です。						比較不可 目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
458,849	333,938

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
88,479	79,665

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化の進行により民営バス及び町営コミュニティバスの利用者は年々減少しています。また、交通安全の観点から、高齢ドライバーの免許返納が今後増加するのではないかと想定されます。このような状況に対応するため、平成26年度に策定した「愛南町地域公共交通網形成計画」の基本方針である、誰もが移動できる持続可能な公共交通のあるまちの実現に向け愛南町にあった公共交通体系の構築が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.59 (2.96)	2.51 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.82 (3.65)	3.85 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町内の移動に困る方が減少します。

施策の成果状況と評価

指標 ①	町内の移動に困らない町民割合 【総務課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	-	45.9	41.3	66	
評価	(状況) 平成29年度は41.3%で、前年度と比べて4.6ポイント減少し、前期目標値の66%には届きませんでした。 (原因) バスの便数や運行時間に不便を感じている方が多いものと考えられます。						(低下) 目標達成度 (中)

施策のコスト (千円)

H28	H29
85,325	86,730

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 需要にあわせた効果的効率的で持続可能な交通手段を確保します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【総務課】	人	-	15,683	18,976	-	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は18,976人で、前年度に比べ3,293人増加していますが、これは平成29年12月1日より西海地域の武者泊・船越線の運行を開始したことによるものです。その他の既存路線の乗客数は、城辺地域の1路線は減少、一本松地域の2路線は横ばいの状況でした。 (原因) 人口減少による利用者数の減少や自家用車等、その他の交通手段を利用していることが利用者の増加につながらない原因と考えられます。						目標達成度 ---
指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【総務課】	円	1,298	1,297	1,593	1,100	(低下)
評価	(状況) 平成29年度額は1,593円で、前年度より296円増加しています。基準値よりも295円増加しており、前期目標値の1,100円には届きませんでした。 (原因) 路線の増加や利用者の減少による事業費の増加と併せて、世帯数が減少していることが低下の原因と考えられます。						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
85,325	86,730

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	民間運行バス（宇和島自動車）の町内での年間利用者数 【総務課】	人	357,404	288,672	252,439	390,000	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は252,439人で、前年度に比べて36,233人減少しています。基準値からも104,965人減少し、前期目標値の390,000人には届きませんでした。 (原因) 人口減少による利用者数の低下や自家用車等、その他の交通手段を利用していることが低下の原因と考えられます。						目標達成度 (中)
指標②	民間運行バスの町内での平均乗車率 【総務課】	%	5.4	7.61	5.26	5.7	(低下)
評価	(状況) 平成29年度率は5.26%で、前年度に比べて2.35ポイント減少しています。基準値からも0.14ポイント減少し、前期目標値の5.7%には0.44ポイント届きませんでした。 (原因) 年間利用者は減っていますが、運行車両の小型化により乗車率は維持されていることが横ばいの要因と考えられます。						目標達成度 (高)
指標③	民間運行バスの町内路線維持に必要な1世帯当たりの負担額 【総務課】	円	3,142	6,279	6,279	2,850	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は6,279円で、前年度と同額でしたが、前期基準値の3,142円から3,137円増加しており、前期目標値の2,850円に対しても3,429円多く、順調でなく、前期計画開始時点よりも負担が増加しました。 (原因) 利用者の減少により、事業費の欠損額が増加したことが原因と考えます。						目標達成度 (低)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業 02-05-03 地震、災害に強い水道の整備

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

総務省から将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が求められており、本町におきましては平成29年3月に策定し、平成29年度から平成38年度までを計画期間としています。

「経営戦略」の策定にあたって、水道料金収入の確保が求められていますが、給水人口の減少に伴い、水道料金収入は、年々減少しています。また、災害時等に安定した水道水の供給を確保するため、老朽化した施設の更新、水道管の更新・耐震化が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.63 (2.96)	3.65 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.34 (3.65)	3.28 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	給水区域内の町民に対して、安定的に「安心・安全な水道水」を供給します。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	88.8	89.2	91.8	89.6	
評価	(状況) 平成29年度は91.8%で、平成28年度より2.6ポイント増加し、前期目標値89.6%を達成しています。 (原因) 老朽化した水道管の継続的な更新や、水道管破損事故があった際における住民への断水の周知、また、断水予定区域や復旧時間短縮への取り組みが住民の水道水への安全意識向上につながったと考えられます。	【水道課】					

施策のコスト (千円)

H28	H29
660,020	251,532

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
水道施設	老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水します。 有収率の向上により、施設維持管理費を削減します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき												
指標①	有収率 【水道課】	%	74.3	75.5	75.3	76													
評価	(状況) 前年度に比べて0.2ポイント減少し、前期目標値においては0.7ポイント届きませんでした。 (原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査の外部委託により漏水解消のための取り組みを行い、成果向上に努めましたが、高度成長期に集中的な整備が行われた水道管の多くが法定耐用年数を迎えたことにより漏水が増えたためと思われます。	<table border="1"> <caption>有収率の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>74.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>74.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>75.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>75.3</td></tr> <tr><td>目標値 (H29)</td><td>76.0</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	74.3	H26	74.5	H28	75.5	H29	75.3	目標値 (H29)	76.0	(横ばい)
		年度	実績値 (%)																
H24	74.3																		
H26	74.5																		
H28	75.5																		
H29	75.3																		
目標値 (H29)	76.0																		
							目標達成度 (高)												
指標②	突発的な断水件数 【水道課】	件	69	42	56	67													
評価	(状況) 前年度と比べて14件増加していますが、前期目標値は達成しています。 (原因) 水道管の更新及び、漏水調査等の漏水解消のための取り組みを行っていますが、法定耐用年数を経過した水道管の漏水が増えたこと、また今年度は冬季の凍結による水道管の破損事故件数が例年より増えたことが原因と思われます。	<table border="1"> <caption>突発的な断水件数の推移</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>69</td></tr> <tr><td>H26</td><td>60</td></tr> <tr><td>H28</td><td>42</td></tr> <tr><td>H29</td><td>56</td></tr> <tr><td>目標値 (H29)</td><td>67</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (件)	H24	69	H26	60	H28	42	H29	56	目標値 (H29)	67	(低下)
		年度	実績値 (件)																
H24	69																		
H26	60																		
H28	42																		
H29	56																		
目標値 (H29)	67																		
							目標達成度 (達成)												

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
35,801	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 給水区域内の町民、水道事業者	基本事業がめざす姿 水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立します。
---------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	経常収支比率（一般会計基準外操出金を除く。） 【水道課】	%	91.7	98.6	79.5	95	(低下)
評価	(状況) 前年度に比べて19.1ポイント低下しており、前期目標値を達成できていません。 (原因) 給水人口の減少及び少子高齢化による水道料金収入の減少（前年度482,062千円→今年度471,405千円）及び簡易水道統合による影響を受け、経常費用が増加（前年度603,944千円→今年度742,854千円）したことが原因と思われます。ただし、旧簡易水道会計分の減価償却費（費用）から長期前受金戻入（収益）を差し引いた91,930千円を経常費用から除外したベースでは経常収支比率は91.9%となり、前年度比6.7ポイントの低下となります。						目標達成度 (中)
②	料金収納率 【水道課】	%	98.4	98.4	98.7	98.4	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて0.3ポイント増加しており、前期目標は達成しています。 (原因) 水道料金未納者に対するきめ細やかな戸別訪問や電話による未納の通知、また、毎月の支払督促、給水停止の業務を行っていることが成果の向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
183,262	241,532

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-03 地震、災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
水道施設	管路の耐震化、主要配水池等への緊急遮断弁の整備及び主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	管路の耐震化率 【水道課】	%	6.8	26.1	26.7	10.8	(向上)
評価	(状況) 前年度に比べて0.6ポイント増加しており、前期目標値を達成しています。 (原因) 経年劣化した水道管の更新工事を継続的に行っていることが、成果の向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標②	貯水施設における緊急遮断弁設置割合 【水道課】	%	77.8	77.8	77.8	77.8	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と同様の数値であり、前期目標を達成しています。 (原因) 500 t以上の配水池9か所のうち、7箇所については、「緊急遮断弁」の設置を終了し、災害時における水道水の確保に努めています。						目標達成度 (達成)
指標③	浄水・送水施設における自家発電設備設置割合 【水道課】	%	75	75	75	75	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と同様の数値であり、前期目標値を達成しています。 (原因) 中長期計画に基づいて、主要な浄水場等8箇所の内、6施設について自家発電設備を設置し、災害等による停電時においても一定時間の給水を確保しています。平成29年度におきましては、台風等の災害による自家発電設備の稼働実績はありません。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
240,425	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を供給します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	0	0	0	0	
①	浄水場の施設維持管理上の不具合件数 【水道課】	件	0	0	0	0	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 前年度と同様の0件であり、前期目標値を達成し、安定的な水道水の供給を図ることができました。 (原因) 毎日点検、委託業者による施設保守点検を実施してきたことから、これらの施策が浄水場の不具合による送水不能件数がなかったことに結びついたと考えられます。	(件)					
②	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 【水道課】	件	0	0	1	0	 (低下) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 平成29年度は1件で、前年度より1件増加したため、前期目標値に届きませんでした。 (原因) 増田浄水場を水源とする水道水から、基準値を超えるジェオスミンが検出されました。ジェオスミンは藻類の発生によって産生されるカビ臭の原因物質です。高温期の施設内における原水停滞が発生原因と考えられますが、ただちに水源の切替及び原水の排出作業等を行ったことにより、基準値内に回復しています。基準値を超えましたが、ジェオスミンは人の健康に影響するものではありません。	(件)					

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
43,281	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
157,251	10,000

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業においては、魚価安が続く中、漁業者の高齢化や後継者不足により、漁獲量が減少傾向にあります。特に、カツオの水揚げ量は、黒潮の蛇行や異常気象により近年急激な落ち込みを見せています。さらに例年安定的に漁獲があった巻き網漁業も平成29年12月から翌年2月にかけて日本国内で発生した異常寒波の影響からか近年にない不漁が続いています。

養殖業においては、資材、餌代が高騰する一方、魚価は、安値安定が続き厳しい状況が続いています。真珠・真珠母貝養殖については、近年徐々に上向きになっています。

本町で生産される養殖魚の加工の必要性が高まっており、今後も、ぎょしょく教育を活用した消費拡大に向けた取組や販路開拓が必要となっています。

また、漁港施設整備については、耐震、耐津波対策などの機能強化はもちろん、老朽化対策として機能保全も行う必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.20 (2.96)	3.27 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.58 (3.65)	3.61 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
漁業者、町民	漁業経営の安定化及び持続可能な水産業の推進に向けた環境の整備をします。

施策の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき																				
								【水産課】																			
①	漁業生産額	百万円	16,679	20,535	20,648	15,000	比較不可 目標達成度 🏰 (達成)																				
	<p>(状況) 近年、漁業生産額は増加しており、目標額を達成すると思われま。 (港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。)</p> <p>(原因) 生産額の9割弱を占める養殖業において、ハマチ、カンパチ、真珠、真珠母貝等で魚価が向上していることが要因と考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>漁業生産額 (百万円)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>16,679</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>17,000</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18,000</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19,000</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>20,535</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>20,648</td><td>15,000</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	H24	16,679	15,000	H25	17,000	15,000	H26	18,000	15,000	H27	19,000	15,000	H28	20,535	15,000	H29	20,648
年度	実績値	目標値																									
H24	16,679	15,000																									
H25	17,000	15,000																									
H26	18,000	15,000																									
H27	19,000	15,000																									
H28	20,535	15,000																									
H29	20,648	15,000																									
②	経営体数	経営体数	458	397	355	350	比較不可 目標達成度 🏰 (達成)																				
	<p>(状況) 前期目標値を達成すると思われますが、全体的に減少傾向にあります。 (港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていません。)</p> <p>(原因) 魚価安や人口減少、高齢化によるものと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>経営体数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>458</td><td>350</td></tr> <tr><td>H25</td><td>440</td><td>350</td></tr> <tr><td>H26</td><td>430</td><td>350</td></tr> <tr><td>H27</td><td>420</td><td>350</td></tr> <tr><td>H28</td><td>400</td><td>350</td></tr> <tr><td>H29</td><td>397</td><td>350</td></tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	H24	458	350	H25	440	350	H26	430	350	H27	420	350	H28	400	350	H29	397
年度	実績値	目標値																									
H24	458	350																									
H25	440	350																									
H26	430	350																									
H27	420	350																									
H28	400	350																									
H29	397	350																									

施策のコスト (千円)

H28	H29
892,255	666,926

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、行政	基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率を高めます。 高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	漁港施設の充足率 【水産課】	%	41.7	42.4	42.4	42.4	(横ばい)
	(状況) 平成28年度より整備率に増加はないが、前期計画目標値としては達成しています。 (原因) 港整備交付金事業完了後は漁港事業は維持補修(機能保全事業)に移行していく予定です。よって今後、係船岸充足率の増加はほぼ見込めず横ばいとなって行くと思われます。						目標達成度 (達成)
②	海岸施設の整備率 【水産課】	%	28.7	31.0	31.0	31.6	(横ばい)
	(状況) 平成28年度より整備率が横ばいとなっており、前期目標値に届きませんでした。 (原因) 平成29年度に船越漁港海岸施設整備事業(護岸L=63.4m)の完了を予定していたが、地元漁業者等との調整や台風等の異常な気象の影響により、工事を繰越しなくてはならなくなり、完了がH30へととなったことが原因と思われます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

H28	H29
712,203	497,785

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁船漁業生産者、養殖業者、漁業者	基本事業がめざす姿 資源の保護、新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	種苗放流数（車えび及びヒラメ）	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		尾	245,500	97,500	93,200	220,000	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は93,200尾で、平成28年度より4,300尾減少し、前期目標値である220,000尾に届きませんでした。 (原因) 個体の定着が難しく成果の見えにくい車エビの種苗放流に関して、平成27年度に見直しを行ったことが要因です。						(横ばい) 目標達成度 (低)
②		万個	1,513	1,831	1,869	1,200	(横ばい)
評価	(状況) アコヤ貝種苗生産注文数1,869万個に対し、100%である1,869万個生産し目標を達成しました。 (原因) 真珠、母貝養殖の生産量と売上げが向上している中、海洋資源開発センターでの種苗生産の成否は、養殖業者の経営に大きな影響を及ぼします。良い品質の貝を安定的に提供できるよう、生産管理とリスク分散を徹底した結果、3年連続して安定生産に結び付きました。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
③		件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は0件であり、目標を達成しています。1年間で計4回の漁場環境調査を実施して動態の把握をし、さらにそれを公表することで環境保全を啓発しています。 (原因) 宇和海特有の大きな海水交換が行われることもあり、水質は安定しています。漁場改善計画に沿って過密養殖をしないことで、環境を保全していきます。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
42,753	33,763

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 住民、消費者	基本事業がめざす姿 ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する普及・啓発を図ります。ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	ぎょしょく教育に参加した町民の延べ人数 【水産課】	人	1,910	1,939	2,118	1,500	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は2,118人で、前年に比べ179人増加し、前期目標値である1,500人も達成しています。全町民の約1割が、何らかのぎょしょく普及事業に参加しています。 (原因) 年度の初めに、幼稚園・保育所、小中学校、高校、公民館、福祉団体等からのぎょしょく普及事業の要望を取りまとめ、関係者と連携をする事により、多くの町民に参加をいただき成果の向上に結び付いたと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標②	公共施設の給食（学校給食センター）における地元水産物の一人当たり利用額 【水産課】	円	2,430	1,879	2,129	1,600	(向上)
評価	(状況) 平成29年度の利用額は前年に比べ250円増加して、地元水産物の利用が順調に推移しています。基準値からは301円減少していますが、前期目標値より529円上回り、目標を達成しました。 (原因) 前年度は、給食センターに地元水産物を納入する町内鮮魚店を招き、学校給食関係者との情報交換会を開催して新しい地元の魚を利用することができました。更に、ヒロメやサツキマス等の利用も促すことができ、これらの事業が成果向上に結びついたと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
14,510	3,919

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者、漁協、大学、行政、企業等	基本事業がめざす姿 関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。
-----------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	共同研究開発成果による事業化件数	件	6	5	5	4	(横ばい)
評価	(状況) 昨年と変わらず5件でしたが、前期目標値を達成しています。 (原因) 毎年内容等の精査をし、事業内容は年々充実しています。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標②	市場で付加価値が高い水産物数	種	3	4	4	4	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は4種で、前期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度から、愛媛大学、愛媛県、水産関係者、愛南町が協同で推進し、養殖スマが「伊予の媛貴海」として売り出される状況となっています。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標③	地域特別研究員数	人	9	9	10	13	(中)
評価	(状況) 平成29年度は10名で、平成28年度より1名増加しましたが、前期目標値13名に届きませんでした。 (原因) 大学教員や町職員の異動等により増減があります。今後も、大学教員の指導を受けながら南予水産研究センターで研究をしたいという希望者が制度を活用できるように、大学と調整を図ります。						(横ばい) 目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
3,046	4,305

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	漁業従事者数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【水産課】 (状況) 平成29年度は1,808人で、平成28年度より79人減少し、前期目標値である2,000人に届きませんでした。 (原因) 漁業者の高齢化が進む一方、魚価安等により安定した所得が得られないため、新規就業者が少ない状況が続いています。また、高齢化が進んでいる一本釣り漁の漁業者の減少率が高くなっています。	人	2,225	1,887	1,808	

年度	実績値 (人)
H24	2,225
H26	2,000
H28	1,887
H29	1,808

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
92	40

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
119,651	127,114

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 農畜産物の高付加価値化の推進

基本事業 03-02-03 農地の保全

基本事業 03-02-04 農業・農村環境の整備

基本事業 03-02-05 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業 03-02-06 地域資源の有効活用

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林産物価格の低迷をはじめ、資材の高騰や鳥獣被害等により大変厳しい状況が続いています。また営農環境や後継者、担い手の確保及び生産者の高齢化が進むなかでの作業の負担や危険性の拡大が課題となっています。

これらの課題を解消するため、自然環境に配慮した愛南町農村振興基本計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、また鳥獣被害防止支援をはじめとする、適正な農地管理や効率的な農地集積の推進や安定した収入の確保、併せて農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.97 (2.96)	3.03 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.61 (3.65)	3.61 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象 農林業者、農地、農業用施設、森林、町民	施策がめざす姿 農林業者の所得向上を目的として、自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売を推進します。
------------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	農業者人口	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【農林課】	人	2,436	-	-	2,280	比較不可
評価	(状況) 指標地算出基礎の一つである農業委員会選挙人名簿作成事務がH26年度で終了したため、指標値の取得ができず現状値分析ができませんが、高齢化や後継者不足等の問題により、減少傾向と考えられます。						
指標	間伐面積 (森林整備された面積)	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【農林課】	ha	280	98	104	300	(横ばい)
評価	(状況) 前年度と比べ、6ha増加しましたが、総合計画前期の目標値である300haには届きませんでした。 (原因) 愛媛県の林業躍進プロジェクトを計画的・段階的に導入することにより、県実施の治山事業による間伐や県営林の主伐を積極的に実施して面積は増加しましたが、全体的には伐採のみから搬出を伴う伐採へと変更したことが原因と考えられます。						

施策のコスト (千円)

H28	H29
483,314	497,144

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 町農業支援センターを核として、意欲のある経営体や集落営農組織の育成支援を図ります。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	新規就農者数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【農林課】	人	8	5	3	3	☔ (低下)
評価	(状況) 前期目標値は達成しましたが、前年度と比べ2名の減少となりました。 (原因) 従来は青年就農給付金事業が、要件強化により農業次世代人材投資事業に移行しました。その影響で青年者の新規採択者が減少したことも起因しています。なお、新規就農者数としては、40歳以上の中高年者は3名追加(新規1名、退職2名)となっています。					目標達成度 (達成)	
②	【農林課】	人	174	150	155	170	☀ (向上)
評価	(状況) 前年と比べ5名の増加となっていますが、前期目標値である170人には届きませんでした。 (原因) 認定新規就農者の認定期間終了に伴う認定農業者への移行や、認定農業者制度への周知を図ったことで、認定農業者数が増加しました。					目標達成度 (中)	
③	【農林課】	経営体	8	7	8	9	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は8経営体で、前年度より1経営体増加しました。また、基準値と同数になりましたが、前期目標値の9経営体には少し届きませんでした。 (原因) 増加した1経営体は、他県に所在する法人であり、経営拡大のため当町の農地を取得したことによるものでした。町内に所在する経営体は、認定農業者数も増加してきており、法人化を目指している柑橘農家も見られます。					目標達成度 (高)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
37,625	42,000

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 農畜産物の高付加価値化の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>農業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>地域の特性を活かした農産物の産地化や耕畜連携による畜産物の安定生産を支援し、農畜産物の高付加価値化を図ります。</p>
---------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	産地化を進める農産物の作付面積	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【農林課】	ha	22.9	29.29	27.92	38	(低下)
評価	<p>(状況) 前年度比4.7ポイントの減少となりました。前期基準値からは向上しているものの、目標には到達しませんでした。</p> <p>(原因) 平成29年度は、農家の高齢化などによる作付の規模縮小、振興品目以外への作目転換が原因であると思われます。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
指標	飼料作物の作付面積	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【農林課】	ha	23.3	17.1	18.5	30	(向上)
評価	<p>(状況) 作付面積は前年比108%となりましたが、作付農家数は横ばい状態になっています。前期目標には及ばないものの徐々に目標に近づいております。</p> <p>(原因) イタリアングラスの作付面積の拡大があったため数値が向上したと思われます。しかし、そのほかの飼料作物は例年どおりであり、大幅な増加にはなりません。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
指標	個別特産品等に関する行政支援満足度	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
③	【農林課】	%	-	91	88	-	(横ばい)
評価	<p>(状況) 柑橘農家については愛南柑橘営農環境改革推進事業に係るアンケートを実施し、72名より回答を得て63名より「ふつう」以上の回答となっています。ハートオニオンについてはJ Aの推進及び植付けが減少傾向にあるため実施していません。</p> <p>(原因) 愛南柑橘営農改革推進事業の一環として、町内の柑橘農家を対象とした「愛南柑橘の可能性を考える会」を2回実施し、特産品の活用についてPRを実施したことが、評価を受けた原因と考えられます。</p>						<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
11,231	14,302

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 農地の保全

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、農地	基本事業がめざす姿 適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び効率的な農地集積により、優良農地を確保します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
指標①	耕作放棄地率	%	0.3	0.3	0.3	17	(横ばい)														
評価	(状況) 平成29年度は0.3%で、前年度と同じでした。また、基準値とも同じで、前期目標値の17%は大きく下回っており、順調に推移しています。 (原因) 新たな耕作放棄地は年々増加傾向にあります。個人が耕作地へ再生したり、再生困難な荒廃農地が非農地判断されたりすることで減少もしているため、荒廃農地の増加は抑えられています。	<table border="1"> <caption>耕作放棄地率 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>値 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>17</td></tr> </tbody> </table>					年度	値 (%)	H24	0.3	H25	0.3	H26	0.3	H27	0.3	H28	0.3	H29	17	(横ばい) 目標達成度 (達成)
年度	値 (%)																				
H24	0.3																				
H25	0.3																				
H26	0.3																				
H27	0.3																				
H28	0.3																				
H29	17																				
指標②	農地利用集積面積	ha	749.01	907.23	926.85	750	(向上)														
評価	(状況) 平成29年度は926.85haで、前年度より2.2ポイントの増加となりました。また、基準値、前期目標値ともに上回っており、順調に推移しています。 (原因) 後継者のいない農家が、高齢により耕作が困難となり、地域の担い手に農地を預ける傾向にあることが原因と思われる。	<table border="1"> <caption>農地利用集積面積 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>値 (ha)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>749.01</td></tr> <tr><td>H25</td><td>850</td></tr> <tr><td>H26</td><td>860</td></tr> <tr><td>H27</td><td>870</td></tr> <tr><td>H28</td><td>907.23</td></tr> <tr><td>H29</td><td>926.85</td></tr> </tbody> </table>					年度	値 (ha)	H24	749.01	H25	850	H26	860	H27	870	H28	907.23	H29	926.85	(向上) 目標達成度 (達成)
年度	値 (ha)																				
H24	749.01																				
H25	850																				
H26	860																				
H27	870																				
H28	907.23																				
H29	926.85																				
指標③	鳥獣被害面積	ha	47	15	15	40	(横ばい)														
評価	(状況) 前期目標値40haは下回っており、目標は達成しておりますが、被害面積は横ばいです。 (原因) イノシシ・ニホンジカなどの有害鳥獣駆除の捕獲頭数の増加と、29年度ワイヤーメッシュ柵を設置したことによる侵入防止の効果が表れています。ヒヨドリのプロコリーへの被害は大きかったものの被害面積は横ばいです。	<table border="1"> <caption>鳥獣被害面積 (実績値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>値 (ha)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>47</td></tr> <tr><td>H25</td><td>15</td></tr> <tr><td>H26</td><td>16</td></tr> <tr><td>H27</td><td>18</td></tr> <tr><td>H28</td><td>15</td></tr> <tr><td>H29</td><td>15</td></tr> </tbody> </table>					年度	値 (ha)	H24	47	H25	15	H26	16	H27	18	H28	15	H29	15	(横ばい) 目標達成度 (達成)
年度	値 (ha)																				
H24	47																				
H25	15																				
H26	16																				
H27	18																				
H28	15																				
H29	15																				

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
154,381	139,854

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 農業・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>農業者、農地、農業用施設</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>農業用道路、用水路などの施設整備、防災・減災を考慮したため池整備及び農業・農村の環境整備を行い、農村の総合的な支援を図ります。</p>
------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	地震時を考慮した貯水量5,000t以上のため池整備率 【農林課】	%	-	64	64	60	
評価	(状況) 前年度と同様ですが、前期計画目標値は達成していません。 (原因) 愛媛県に積極的に整備等の要望をするなど、計画的に防災・減災に向けて取り組んだことにより、ため池整備事業が実施されたことが考えられます。						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
指標②	生産基盤の整備がされていると思う農家の割合 【農林課】	%	-	40	-	75	
評価	(状況) 農家及び非農家を対象としたアンケートの実施年度の関係で、現状値が取得できないため評価コメントが記載できません。						<p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
115,728	163,304

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>林業者、森林</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>林道、林内作業道等の整備、高性能林業機械の導入を図ることにより、コストの低減と労働条件の改善を推進し、素材生産量の向上を図ります。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	素材生産量 【農林課】	m3	3,766	9,222	9,574	5,200	
評価	<p>(状況) 前年度に比べて、素材生産量は352立方メートル増となりました。前期目標値は達成しております。</p> <p>(原因) 前年度同様に搬出間伐が中心であったため横ばいになったと考えられます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
②	林業従業者数 【農林課】	人	52	52	45	52	
評価	<p>(状況) 高齢者の離職等により7名減少し、前期目標値52人を下回り林業従業者は45人となっています。</p> <p>(原因) 高齢化による離職及び新規林業従事者の早期離職により、林業従事者の確保には至っていません。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
22,732	24,478

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-06 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者、町民	基本事業がめざす姿 地産地消、グリーン・ツーリズム等の取組を推進し、都市住民との交流機会の拡大や地元農林水産物の利用促進を図ります。
-------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	直売所の販売額 【農林課】	百万円	630	626	602	700	(横ばい)
評価	(状況) 直売所の数は、平成29年5月に閉店した1か所の減となっています。全体販売額で見ると前年に比べ、約24,000千円の減となっています。前期目標値に比べ、98,000千円の減となり目標を達成できませんでした。 (原因) 柑橘等の生果の販売は増加であったが、加工品などの販売の減少が見受けられ、また会員の退会による取扱い量の減少などにより総販売額が減少したと考えられます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)	
指標②	公共施設の給食（学校給食センター）で使用する地元農産物の割合 【農林課】	%	13	10.3	10.2	15	(横ばい)
評価	(状況) 前年と比べて、0.1ポイントの微減となりました。前期目標値に比べ、4.8ポイントの減となり目標を達成できませんでした。 (原因) 食材納入業者に対しては、給食センターから地産地消を推奨しているが品ぞろえに対して、町内産では、品数が限られていることと町外市場での価格の安価等の理由により、町内産の食材使用率が微減したと考えられます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)	
指標③	交流人口数 【農林課】	人	8,361	8,569	8,100	8,800	(横ばい)
評価	(状況) 前年度に比べて、交流人口が469名減となりました。前期目標値に比べ、700名の減となり目標を達成できませんでした。 (原因) 高速道路の延伸により、日帰り客が増加傾向にあり、以前に比べて、宿泊者が減少したことにより、交流人口が減少したものと考えられます。					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)	

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
9,821	2,532

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
131,796	110,674

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業は長引く景気の低迷、人口減少、少子高齢化による顧客の減少等により厳しい経営状況が続いています。また、今後経営者の高齢化により、やむを得ず廃業せざるをえない事業者が増えることが予想でき、このまま放置しておく、産業の空洞化により地域の衰退化が進むことが予想されます。
このような状況の中、商工会と連携した経営基盤強化につながる経営講習会への助成や利子補給制度等財政的な支援を継続するとともに、後継者不足による廃業の減少を図るための事業承継支援策が求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.75 (2.96)	2.78 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.63 (3.65)	3.63 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工会及び商店街振興組合と連携して、小売業者及び商工事業者の生産性や販売力強化に向けた経営支援を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	町内の小売業者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	341	296	296	280	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は296件で前年と比較して増減なく横ばいで推移しており、前期目標値は達成していますが、基準値からは45件減少しています。 (原因) 事業主の高齢化が原因と思われる廃業が昨年度に集中したため、今年度の廃業が無かったことが考えられ、周辺地域を取りまく環境は改善されていないと思われます。					(達成)	
指標	町内の商工業者数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	1,273	1,201	1,205	1,100	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は1,205件で前年と比較して4件増加しており、前期目標値は達成していますが、基準値からは68件減少しています。 (原因) 平成29年度は廃業が少なかったことで増加しておりますが、基準値からは大きく低下しており、長引く景気低迷と人口減少が商工業者の減少の原因だと思われます。					(達成)	

施策のコスト (千円)

H28	H29
96,073	93,549

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、商業事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>日用品の買物環境が整っています。</p>
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	日常の買い物に困っている町民割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①		%	-	7.4	6.0	-	
評価	<p>【商工観光課】</p> <p>(状況) 平成29年度は6.0%で前回調査と比較して1.4ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 指標値は改善していますが、前回調査時から増減はないものと思われます。</p>						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
653	640

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
中小企業者	中小事業者の経営支援、運転資金の円滑な調達等を支援し、事業活動が持続的なものとなるよう努めます。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業所数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【商工観光課】 (状況) 平成29年度は924所で前年度と比較して、51所減少し、前期目標値に176所届きませんでした。 (原因) 商工課が経営指導を行っている事業所が脱会したことが主な原因だと思われます。	所	1,067	975	924	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
19,257	17,764

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
76,163	75,145

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、わが国では、少子高齢化、グローバル化、情報化など、社会環境がめまぐるしく変化する中、価値観やライフスタイルの多様化を反映し、人々の観光ニーズも多様化しており、世界規模の大交流時代となった今、観光は「21世紀のリーディング産業の一つ」として、世界でも認識されています。

国では、観光立国の実現は21世紀のわが国の発展のために不可欠な課題であるとし、平成18年12月の「観光立国推進基本法」の制定に続き、平成19年6月には「観光立国推進基本計画の閣議決定」がなされるほど、国全体として官民をあげて、観光立国の実現に取り組む体制づくりが始まっています。さらに、平成20年10月には観光庁が発足し、広域的な連携や新たな観光旅行分野の展開が進められています。

観光は、地域産業のすべてを活性化させ、働く場を増やし、地域を潤します。また、人口減少や少子高齢化といった愛南町を取り巻く状況は厳しさを増しており、地域活性化による地方創生の実現は、重要な課題の一つとなっています。愛南町では、こうした背景をもとに、「愛南町観光振興計画」（以下、本計画）を策定し、愛南町の観光振興において戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化をめざすものとし、

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.95 (2.96)	2.92 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.62 (3.65)	3.70 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、町外から多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	年間観光客数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	(状況) 前年度と比べ、73千人減少しており、前期目標値からも大きく減少しています。 (原因) イベント等での減少が目立っており、イベント数の減少、天候に恵まれず中止や来場者の減少になったことなどが原因と考えられます。	人	1,358,628	1,231,369	1,157,708	1,500,000

【商工観光課】

年度	実績値 (人)
H24	1,358,628
H26	1,231,369
H28	1,157,708
H30	1,157,708

施策のコスト (千円)

H28	H29
225,088	296,044

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>特産品、観光スポット</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>地域の資源（特産品や観光スポット）を一つとして捉え、観光客と食事客を同じ立場で位置付けることで付加価値をつけ誘客を促進します。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 【商工観光課】	人	88,500	87,087	52,787	100,000	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度に比べ、34,300人減少し、前期目標値も下回りました。</p> <p>(原因) 南予博イベントが前年度で終了したこともあり、イベント等での減少が大きく、イベント数の減少や天候に恵まれず中止や来場者の減少などが原因と思われます。</p>						☔ (低下)
指標②	町が支援する特産品販売イベントの開催回数 【商工観光課】	回	23	18	18	25	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は18件で、前年度と比較して横ばいで推移していますが、前期目標値からは7件下回りました。</p> <p>(原因) イベント内容を精査し、参加したことが原因と考えられますが、3イベントに新規に参加しております。</p>						☁ (横ばい)
指標③	町が支援する特産品販売イベントへの出店事業者数 【商工観光課】	事業者数	128	138	143	95	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は143件で前年度に比べて5業者増加しており、前期目標値も達成しております。</p> <p>(原因) 事業所への積極的な参加依頼により出店者数が増加したことが考えられます。</p>						☀ (向上)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
24,906	28,778

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 具体的な効果のあるPRを充実させ、旅行会社等と連携することにより観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらいます。
-----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	観光協会ホームページへのアクセス数 【商工観光課】	件	86,930	110,210	98,152	100,000	(低下)
評価	(状況) 平成29年度のアクセス数は98,152件で、前年に比べて12,058件、10.9ポイント減少しているものの、前期目標値に近い数値であるといえます。 (原因) 観光協会ホームページへのアクセス数減少の原因としては、町内各観光施設各自が開設するフェイスブックやホームページが充実してきたことなどが考えられます。					目標達成度 (中)	
②	マスコミ等（新聞、テレビ等）での掲載件数（有料・無料含） 【商工観光課】	件	10	96	96	60	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度のマスコミ等での掲載件数は96件で、前年度と同数になっています。マスコミ等に積極的に働きかけたこともあり、前期目標値を大幅に上回りました。 (原因) 「なーしくん」が『ゆるキャラグランプリ』で上位入賞を果たしたこともあり、特産品や景観など愛南町の持つ観光資源をマスコミが積極的に取り上げたことが原因と考えられます。					目標達成度 (達成)	
③	新聞、テレビ、雑誌等へのリリース件数 【商工観光課】	件	-	42	48	30	(向上)
評価	(状況) 平成29年度の新聞、テレビ等へのリリース件数は48件で、前年度より6件増加し、前期目標値を上回りました。 (原因) 「ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣」の告知について、平成28年度までの「愛南びやびや祭り」からイベント名称と開催場所が変更となったため、マスコミ関係へのリリース件数が増加しました。					目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
47,629	41,500

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー見直しなどをして、魅力の向上を図ります。
-----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	観光施設の不具合・トラブル件数 【商工観光課】	件	18	16	23	0	(低下) 目標達成度 (低)
評価	(状況) 平成29年度は23件で、前年に比べ7件、前期基準値からも5件増加し、前期目標値からも大きく上回っています。 (原因) 施設の老朽化等が原因と思われます。						
②	リニューアルされた観光資源数 (施設、サービス、イベント等) 【商工観光課】	件	8	6	4	10	(低下) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 前年度に比べ2件減少し、前期目標値にも届きませんでした。 (原因) 南予博イベントが前年度で終了したことが件数減少の原因と思われます。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
104,689	158,163

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
47,864	67,603

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

雇用の創出の場の観点から企業誘致は非常に重要な問題ではありますが、南予地域は輸送コストの問題等により、愛媛県内でも企業の新規誘致が進んでいないのが現状です。
今後、これまで以上に企業誘致に向けた活動が、関東及び関西を中心に必要となると思われませんが、同時に現誘致企業の留置活動に積極的に取り組まなければなりません。また、併せて町内商工業者の経営基盤強化にも取り組むことで町内での働く場の維持・拡大を図り、雇用者のニーズに応えられる環境の整備が必要であると考えられます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.36 (2.96)	2.46 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	4.11 (3.65)	4.07 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	雇用の拡大及び安定的な雇用の確保を図ることにより、町民が安心して働き、生活できます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	有効求人倍率 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		倍	0.46	0.45	0.70	0.5	
評価	(状況) 前年度から0.25ポイントの改善が見られ、基準値からは0.24ポイント、前期目標値からも0.2ポイント増加しており、目標を達成しています。 (原因) 国の施策に伴う、緩やかな景気回復によるものと考えられます。						(向上) 目標達成度 (達成)

施策のコスト (千円)

H28	H29
7,043	5,977

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業所</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>若年層、中高年齢者及び障害者への雇用相談や各種研修などを実施し、雇用促進を図ります。</p>
------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	求人数	人	539	837	991	600	(向上)
評価	<p>【商工観光課】</p> <p>(状況) 前年度より154人増加しており、基準値より452人、前期目標値からも391人増加し、目標を達成しています。 (原因) 継続して募集している事業者に加えて、企業立地の促進に伴い、新規企業が雇用者の募集を行ったためと考えられます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
②	求職者の就職割合	%	52.8	55.2	48.3	60	(低下)
評価	<p>【商工観光課】</p> <p>(状況) 前年度に比べ6.9ポイント低下しました。また基準値を4.5ポイント下回り、目標値に11.7ポイント届きませんでした。 (原因) 求人情数の増加と内容の多様化に伴い、雇用者と求職者の間で給与や雇用形態等にミスマッチが生じていることが原因だと考えられます。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
4,004	4,049

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>個人又はグループで、法人を設立予定の者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>農林水産物、自然資源等の地域資源を活かした起業を支援します。</p>
---	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	地元資源活用型事業で、起業・新規参入した団体 【商工観光課】	件	1	0	0	1	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度においては、地域資源を活用した新規起業者は0件で前期目標値は達成できませんでした。 (原因) 1件の問い合わせはありましたが、法人化までに至っておりません。法人化のためのコストが高額になることが原因だと思われれます。	<p>実績値 (H28): 0, 実績値 (H29): 0, 目標値 (H29): 1</p>					目標達成度 (低)
指標②	新規起業家数 【商工観光課】	件	13	8	8	15	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は前年同様の8件が新規創業しましたが前期目標値からは、7件下回っています。 (原因) 景気は低迷により、新規創業家数が少ないことが原因と考えられます。	<p>実績値 (H28): 8, 実績値 (H29): 8, 目標値 (H29): 15</p>					目標達成度 (中)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>中小企業、製造業、情報通信業、卸売業、宿泊業</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>企業誘致により、事業活動や雇用の拡大を図ります。</p>
--	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	製造業者等の誘致・留置件数 【商工観光課】	件	3	3	4	4	(向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は1件の情報関連企業の誘致を行い、前期目標値を達成しました。</p> <p>(原因) 輸送コスト等の問題で製造事業者の誘致は困難な状況が続いていますが、輸送コストの影響を受けない情報関連企業への働きかけにより、誘致につながったと思われます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>
②	誘致した製造業者等の町内雇用者数 【商工観光課】	人	176	172	181	200	(向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度の雇用者数は181人で前年比9名の増となっていますが、前期目標値からは19人下回りました。</p> <p>(原因) 既存企業への留置活動により、従業員の減少が無かったことと、情報通信関連企業の誘致により雇用者数は増加しておりますが、長引く景気の低迷が前期目標値を達成できなかった原因だと思われます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
3,039	1,928

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化が進展する中、多様化する行政ニーズへの対応や、地域コミュニティの運営・維持・活性化への支援が必要な状況になることが見込まれます。

こうした状況に対応するため、愛南町自治基本条例に基づき、住民が主体的に町政へ参画できる機会を設けることを継続するほか、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、協働によるまちづくりを推進する取り組みが求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.04 (2.96)	3.00 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.47 (3.65)	3.48 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会づくりの活性化を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき							
①	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 【総務課】	%	51	55.4	54.8	60								
評価	<p>(状況) 平成29年度は54.8%で、前年度より0.6ポイント減少しています。基準値からは3.8ポイント向上していますが、前期目標値の60%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 住民アンケートにより、協働したまちづくりがなされていると思う(ややなされていると思うを含む)と回答した割合は、女性が前年度より6.4ポイント増加したものの、男性は6.8ポイント減少したため横ばいとなっています。年代別では30歳代が61.7%と目標値を達成しているものの、20歳代と65歳以上のポイントが低いことから、若者と高齢者にも参加してもらえらるまちづくりが必要と考えます。</p>	<table border="1"> <caption>実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>55.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>54.8</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	H24	51	H26	55.4	H28	54.8	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
年度	実績値 (%)													
H24	51													
H26	55.4													
H28	54.8													

施策のコスト (千円)

H28	H29
150,196	154,821

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	地域活動が活発化することにより、連携意識の向上や地域の運営・維持が図られます。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町民の行政区への加入率 【総務課】	%	76.8	75	74.6	80	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 平成29年度は74.6%で、前年度と比べてほぼ横ばいの状況です。基準値からは2.2ポイント減少しており、前期目標値の80%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 人口の減少により行政区に加入している高齢者世帯が減っていること、逆に若い世帯は加入しないことが横ばいの原因と考えられます。</p>						
指標②	地域コミュニティ活動への参加率 【総務課】	%	42.1	49.3	47.8	60	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
評価	<p>(状況) 平成29年度は47.8%で、前年度より1.5ポイント減少しています。基準値からは5.7ポイント向上していますが、前期目標値の60%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 行政区に加入している世帯数は70%を超えているため、住民の地域コミュニティ活動への理解度が高いことが向上に結びついたと考えられます。</p> <p>しかしながら、人口の減少や高齢化の進展、また、若い世代になるほど地域コミュニティ活動に参加していない割合が高いことから、必要とされるサポート体制の構築が必要と考えられます。</p>						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
103,607	99,311

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、NPO、ボランティア団体、行政	基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	団体情報ファイル（仮称）に記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】	団体	18	20	20	20	(横ばい)
評価	（状況）平成29年度は20団体で、平成28年度と比べ横ばいですが、前期目標値は達成しています。しかし、団体メンバーの高齢化が進み、団体や活動を維持することが難しい状況です。 （原因）若い世代のボランティア活動、NPO活動への興味や関心、参加が低いことが考えられます。団体や活動を維持していくためには、若い世代の積極的な参加が必要になります。						目標達成度 (達成)
指標②	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】	%	-	17.3	16.3	10	(横ばい)
評価	（状況）平成29年度は16.3%で、平成28年度より1.0ポイント減少しましたが、年齢、性別、地域別の全てにおいて、前期目標値は達成しています。しかし、ボランティア活動やNPO活動をしている町民の割合はあまり良い状況ではないと考えられます。 （原因）20代の「興味や関心がないので参加する気はない」と答えた人の割合が平成28年度は60.0%、平成29年度は63.2%で高い状況です。仕事や子育てなどによる活動への影響があると考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	行政の情報を住民に十分に伝えます。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町からの広報（広報誌及びホームページ）の量や内容が十分だと思ふ町民の割合 【総務課】	%	90.7	93.9	91.4	95	
評価	<p>（状況）平成29年度は91.4%で、前年度に比べて2.5ポイント低下しています。基準値からは0.7ポイント向上していますが、前期目標値の95%には届きませんでした。</p> <p>（原因）アンケート指標の統計誤差と思われます。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>
指標②	広報誌を読んでいる町民の割合 【総務課】	%	71.5	72.7	75.2	75	
評価	<p>（状況）平成29年度は75.2%で、前年度に比べて2.5ポイント向上しています。基準値からも3.7ポイント向上しており、前期目標値を達成しています。</p> <p>（原因）毎号特集を掲載するなど、読みやすい紙面づくりに取り組んだことが成果向上に結びついたと考えられます。</p>						<p>☀️ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p>

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
5,716	7,431

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	公募による委員の割合 【総務課】	%	8	9	9.2	20	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は9.2%で、前年度より0.2ポイント向上しています。基準値からも1.2ポイント向上していますが、前期目標値の20%には届きませんでした。 (原因) 委員公募の周知は町ホームページ、広報誌等で周知していますが、向上には結びつきませんでした。町民の行政に対する関心の高まりが見られないことや、働いている人には参加し難い時間帯での会議の開催が横ばいの原因と考えられます。						(低)
指標②	町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合 【総務課】	%	46.6	52.3	54.3	60	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は54.3%で、前年度より2ポイント向上しています。基準値からも7.7ポイント向上していますが、前期目標値の60%には届きませんでした。 (原因) 意見箱の設置や町ホームページで意見を募っていること、また、開催された会議の会議録を公開していることなどが向上に結びついたらと考えられます。						(高)
指標③	意見表明制度の実施回数 【総務課】	回	3	4	5	8	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度の実施回数は5回で、前年度より1回増えています。基準値よりも2回増えています。前期目標値の8回には届きませんでした。 (原因) 愛南町自治基本条例第21条に基づき、実施できるパブリックコメントは全て実施したことが向上に結びついたらと考えられます。 しかしながら、この制度は案件が生じたときに実施するものですので、目標値に対する増減を単純に比較できるものではありません。						(高)
指標④	地区要望により実施した事業割合 【総務課】	%	62.2	67.0	65.9	70	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は65.9%で、前年度とほぼ横ばいの状況です。基準値からは3.7ポイント増加していますが、前期目標値の70%には届きませんでした。 (原因) 地区要望の件数が多いことと、予算にも限りがあるため、全てに対応することは困難であり、必要性の高いものを実施し、低いものや対応できないものは実施しないため、実施率は、ほぼ横ばいとなったと考えられます。						(高)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
302	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	委員会等の会議録の公開率 【総務課】	%	100	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度の公開率は100%で、前期目標値を達成しています。 (原因) 公開できる会議は、全て公開していることが成果に結びついた要因となっています。						目標達成度 (達成)
②	情報公開請求の公開率 【総務課】	%	100	93	83.3	100	(低下)
評価	(状況) 平成29年度の公開率は83.3%で、前年と比べて9.7ポイント減少しています。基準値からも16.7ポイント減少しており、前期目標値の100%には届きませんでした。 (原因) 減少した原因は、不開示決定が1件あったことによるものですが、不開示決定理由は個人情報が含まれていたことによるもので、適切な事務処理の結果によるものと考えます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
40,571	48,079

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の強化

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

【環境変化】

近い将来、南海トラフ沿いでの大地震の発生確率が高くなっており、風水害や土砂災害は全国的に増加・甚大化の傾向にあります。また、平成28年の熊本地震では、住民一人ひとりの日ごろからの備えや地域住民相互の助け合いの重要性が再認識されました。大規模災害から、かけがえのない生命と財産を守るためには地域の特性を踏まえ、より実践的な訓練の実施や地域の問題解決や防災意識の向上のため「自助」「共助」「公助」の連携強化を図っていく必要があります。

【課題】

学校教育や社会教育における防災教育を推進し、訓練や学習会、啓発活動により町民一人ひとりが自分の命は自分で守る「自助」の強化を推進し、また、防災リーダーの育成や自主防災組織の活動支援により、地域住民が連携して地域の安全はみんなで守る「共助」の強化を図っていく必要があります。さらに、地域防災計画や業務継続計画に基づき、復旧・復興を見据えた「公助」の強化をしていく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.01 (2.96)	3.01 (2.97)	→
重要度	--- (---)	3.76 (3.65)	3.82 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム(防災文化)を創造することにより、町の防災力・減災力の向上を図ります。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	行政の防災対策に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	65.4	64.3	63.6	90	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は63.6%で、平成28年度より0.7ポイント減少し、47%の町民が不安を感じています。基準値からも6ポイント低下しており、前期計画目標値に届いておりません。</p> <p>(原因) アンケート結果によると高齢者が不安を持っている割合が高くなっています。未曾有の大規模災害に対する恐怖や津波避難についての不安が考えられます。今まで以上にソフト、ハードの両面で防災減災対策を推進してきます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ (中)</p>
②	地域(行政区・自主防災組織)の防災力に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	59.4	57.2	49.5	80	(低下)
評価	<p>(状況) 平成29年度は49.5%で平成28年度と比較して7.7ポイント減少し、地域の防災力に安心感を持っている割合は町民の約半分となっております。基準値からも9.9%減少し、前期目標値の80%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 自主防災組織の結成率は100%ですが、大規模災害に備えるための防災対策の取組には温度差があり、地域の防災力を認識していないことが考えられます。積極的に地域の防災訓練の参加を呼びかける必要があります。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>
③	家庭の防災力に安心感を持っている町民割合 【消防本部】	%	52.2	49.3	49.5	70	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は49.5%で平成28年度と比較して0.2ポイント増加し、半数の町民が家庭の防災力に安心感を持っていますが、前期目標値である70%には20.5ポイント届いていません。</p> <p>(原因) 耐震化の促進や非常時持ち出し袋の購入補助、避難訓練等の啓発により家庭の防災力向上に努めていますが、経験したことのない大規模災害に対する目に見えない不安があるように思えます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ (低)</p>

施策のコスト (千円)

H28	H29
158,913	573,290

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	組織率100%を達成した自主防災組織体制を維持しつつ、災害時要援護者支援対策及び家庭での防災対策の実践を強化することにより、組織活動を活性化させます。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	訓練等を実施している自主防災組織の割合 【消防本部】	%	28.9	31.3	34.9	100	(横ばい)
評価	(状況) 前年度より3.6ポイント増加しました。総合計画開始時点より6.0ポイント向上しましたが、前期目標値には届きませんでした。 (原因) 自主防災会の総会等で、訓練の実施を呼びかけていますが、訓練を実施する自主防災会が限定されていることが考えられます。さらに防災啓発をしていく必要があります。						(低)
指標②	災害時要援護者支援台帳の整備割合 【消防本部】	%	37.3	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況) 前期目標値は達成していますが、今後は個別計画の整備を進めていく必要があります。 (原因) 平成24年度から3年間、専門職員を配置して戸別訪問をしたことにより、平成27年度に全地区への支援台帳の整備割合が100%を達成しました。						(達成)
指標③	防災資機材の整備箇所数 【消防本部】	箇所	145	158	158	145	(横ばい)
評価	(状況) 平成24年度で前期目標値の145箇所は達成しており、今後も地区要望等により増加していきます。 (原因) 自主防災会の総会等で、防災資機材整備事業を周知したことにより、町内すべての地区に設置が完了しています。						(達成)
指標④	家庭での防災対策実践項目数 (全11項目における平均実践度) 【消防本部】	項目	-	3.72	3.61	9	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は3.61項目で平成28年度と比較して0.11ポイント低下しており、家庭で防災対策が余り実践されていません。9項目の前期目標値にも届いておりません。 (原因) 防災対策のうち、家具転倒防止策、救急用セット、生活物資の備蓄等をしている家庭の割合が低く、費用と時間がかかることが、原因と思われます。また、災害時のことが家族で話し合われていないことなども影響していると考えられます。						(低)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,031	2,466

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	迫り来る未曾有の危機に対する知恵・公的精神(連帯・我慢・利他)・技能が、親から子、子から孫へと世代間で継承されていく防災地域社会システム(防災文化)を創造します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	災害時の初期対応・避難について、正しい理解をしている町民割合 【消防本部】	%	-	-	-	90	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況) 現状値の取得はできていませんが地域、職域、学校単位での防災訓練を継続的に実施することで、災害時の初期対応、避難行動について正しい防災知識の普及と防災意識の向上が見られます。 (原因) 大規模災害時に命を守る行動をすべての住民が理解し、避難行動を正しく行うことが最も重要であると考え、防災啓発事業に取り組んでいることが考えられます。						

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	災害時の初期対応・避難について、正しい理解をしているこどもの割合 【消防本部】	%	-	-	-	90	比較不可 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況) 現状値の取得はできていませんが、学校等と協力し、防災啓発事業に積極的に取り組み、児童・生徒への正しい知識の普及と防災意識向上に努めています。 (原因) 学校防災教育指定校を小中学校各1校を選定し、災害時の初期対応や避難について正しい理解を深めています。また、町内の小中学校の学年単位、PTA単位での防災学習の実施が防災意識の向上に繋がっています。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,695	1,450

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>住宅、防災拠点施設</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>住宅内での被害軽減及び避難施設・避難収容施設の防災拠点化に向けて、耐震化を進展させます。</p>
---------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【消防本部】	%	52.5	53.2	53.3	70	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度と比較して0.1ポイント耐震化率は増加しましたが、前期目標値の70%には届きませんでした。 (原因) 耐震化率の上昇は、自然的な住宅更新によるものです。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>
指標	防災拠点施設の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【消防本部】	%	92.7	98.3	98.3	100	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度と比較して横ばいの状況です。前期基準値は上回っていますが、目標値には届いていません。 (原因) 防災拠点の耐震化率については、1施設の耐震改修が行われていないのが原因です。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
420	1,690

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設、自主防災組織、消防団、家庭	基本事業がめざす姿 防災行政無線統合整備(デジタル化)及び自主防災組織への衛星携帯電話拡充整備等による防災情報通信網の多重化と一般化を図ります。
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	防炎情報通信網の数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		システム	10	11	11	10	
評価	(状況) 現在整備可能な通信網は整備済みです。前期目標値は達成しました。 (原因) 整備の推進については整備可能な施設があれば随時整備に努めます。	(システム) 					(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標	衛星携帯電話の整備数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		基	28	38	38	40	
評価	(状況) 孤立可能性のある集落に整備が完了したため、ポイントの増減はありませんが、前期目標値には届きませんでした。 (原因) 配備が必要と認められる地域があれば、随時整備に努めます。	(基) 					(横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
31,811	486,031

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 防災拠点施設、防災機関、民間事業所	基本事業がめざす姿 食糧及び物資の備蓄を推進し、各種機関や民間企業等との協定により災害時の町民への支援及び町民の避難体制を整えます。
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	食糧の備蓄充足割合 (H25~H29 5か年計画) 【消防本部】	%	12	76.3	86.7	100	(向上) 目標達成度 (高)
評価	(状況) 平成29年度は86.7%で、前年に比べて10.4ポイント増加しましたが、総合計画の前期目標値である100ポイントには届きませんでした。 (原因) 備蓄計画により、アルファ米1,500食、乾パン2,952食を購入しましたが、平成27年度に備蓄計画を策定し、平成31年度までの5年間で目標値に達成する計画としたため、目標値達成年度に2年間のずれが生じていることが原因です。						
②	物資の備蓄充足割合 (H25~H29 5か年計画) 【消防本部】	%	23.4	38.2	49.0	100	(向上) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 平成29年度は49.0%で、前年に比べて10.8ポイント増加しましたが、総合計画の前期目標値である100%には届きませんでした。 (原因) 備蓄計画により、災害用毛布650枚、ブランケット900枚を購入しましたが、平成27年度に備蓄計画を策定し、平成36年度までの10年間で目標値に達成する計画としたため、目標値達成年度にずれが生じていることが原因です。						
③	災害協定を締結した機関数 【消防本部】	機関	24	38	39	24	(向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 平成29年度末までの災害協定締結機関は39機関で、平成28年度より1機関増加し、前期計画の目標値を達成しています。 (原因) 愛媛県行政書士会と災害協定を締結しました。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
19,807	12,584

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
104,149	69,069

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年大規模災害が多数発生し、複雑多様化する災害、高度な救命処置への対応など消防を取り巻く環境は大きく変化しています。消防はこの変化に的確に対応し、消防の使命である住民の生命、財産を守る責任を果たさなければなりません。そのためには高度な装備や資器材の導入および専門的な知識、技術を高めていかなければなりません。住民の高齢化が進む中、年々救急車の利用率も増加傾向にあり、医師の減少により管外搬送も増加していることにより、救急体制の強化を早急に図る必要があります。近年、高齢者をはじめとする多くの災害時要援護者が火災により犠牲となっています。こうした被害を未然に防ぐこと、被害を最小限に抑制することを目的に、住宅防火対策の推進や、住宅用火災警報器設置の普及促進に努め、火災による人的、物的被害を軽減し、火災予防の強化を図り安心・安全な町づくりをめざします。また消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、消防団員の処遇改善、老朽化した消防団詰所及び資器材を計画的に更新し、消防団員の活性化につなげ地域の消防体制の充実を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.18 (2.96)	3.22 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.67 (3.65)	3.66 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、消防団、消防職員	施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。

施策の成果状況と評価

指標	1万人あたり火災発生件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【消防本部】	件	4.46	3.5	7.8	3.8	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 平成29年度に発生した火災は、建物火災6件、林野火災1件、その他の火災10件で、合計17件の火災が発生しました。平成29年4月1日現在の愛南町の人口は21,732人で10,000人当たりの火災発生件数は7.8件となり前年より4.3件多く発生しており、前期目標値を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 火災発生件数17件の内、ゴミ焼・天ぷら油等による火の不始末によるものが12件と7割を占めており、その内40%が高齢者による火の不始末が原因となっています。</p>						■ (低)
②	【消防本部】	千円	994	1,586	15,830	8,500	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 平成29年度に発生した火災は、建物火災6件、林野火災1件、その他の火災10件発生し、昨年度より9件増加しています。また損害額も15,830千円と前期目標値の8,500千円を大きく上回り、目標を達成できませんでした。</p> <p>(原因) 建物火災6件の内訳は住宅火災3件、倉庫火災2件、事業所火災1件でしたが、損害額が増加した原因としては、事業所火災1件で約10,000千円の損害が出たことが要因に挙げられます。</p>						■ (低)
③	【消防本部】	分	8.5	9.6	9.3	8.3	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 救急出場件数は毎年増加しており、前年度より47件増加し1,255件の出場がありました。また、救急車の平均到着時間は前年と比較して0.3分短縮しましたが、前期目標値の8.3分には届きませんでした。</p> <p>(原因) 到着時間が前年より短縮された要因として、消防署から遠隔地となる内海・西海・一本松方面への救急件数が減少したことによるものと考えられます。</p>						■ (低)
④	【消防本部】	分	37.4	42.4	40.5	36.5	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 患者収容時間の平均は、前年より1.9分短縮し40.5分となりましたが、前期目標値の36.5分には届きませんでした。</p> <p>(原因) 遠隔地への救急出場件数の減少と、町の基幹病院である県立南宇和病院の救急医療体制見直しにより救急患者の受入率が向上したためと考えられます。</p>						■ (低)

施策のコスト (千円)

H28	H29
495,325	437,356

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防施設、消防車両、消防職員	基本事業がめざす姿 消防力の整備指針に基づく基準人員及び装備を確保することにより消防力を強化します。
---------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	消防力基準の達成率（装備） 【消防本部】	%	100	100	100	100	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車2台、救急自動車2台、救助工作車1台を整備しており、老朽化車両は随時更新を行い基準値を維持し、前期目標値を達成しています。 (原因) 29年度の車両の更新はありませんでした。						
②	消防力基準の達成率（人員） 【消防本部】	%	66	67	65	68	 (横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は45名であります。そのうち、行政職員が5名含まれており、40名の消防吏員で消防業務を行っていますが、隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合、非番職員を招集し災害対応に当たっており、前期目標値に届きませんでした。 (原因) 早期退職者が、平成28年度に2名、29年度に1名あったことから、前年度より職員数が1名減となっています。						

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
43,453	16,494

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、消防職員	町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	救命講習の受講人員数 【消防本部】	人	1,825	2,173	2,293	2,400	(向上)
評価	<p>(状況) 救命率の向上を図るため、小・中・高等学校は基より、各種事業所において応急手当普及啓発活動を行い、また町ホームページ等を活用し救命講習の受講呼び掛けを行った結果、前年度より受講者数が120名増加しましたが、前期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 各種団体への、救命講習受講呼び掛けを行っています。町内の人口減少および再受講者数の減少に起因するものと思われます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
指標②	管外搬送件数 【消防本部】	件	253	238	266	200	(低下)
評価	<p>(状況) 29年度の管外搬送件数は266件と前年より28件増加しており、平成25年度をピークに年々減少傾向にありましたが、28年度から増加傾向となっています。現在も救急搬送件数の21%強を管外搬送が占めている状況であり、目標値に届きませんでした。</p> <p>(原因) 増加の起因は、町内の基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市・宿毛市等の救急病院へ搬送しなければならないためです。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
指標③	軽傷者の搬送割合 【消防本部】	%	37	41	36	33	(向上)
評価	<p>(状況) 救急自動車の適正利用等の広報活動により、平成23年度から減少傾向にあった軽症者の搬送が、平成26年度から救急出場件数の増加に伴い徐々に上昇していましたが、今年度は救急件数が増加したにも関わらず軽症者の搬送割合は36%と基準値より向上しましたが、前期目標値の33%には少し届きませんでした。</p> <p>(原因) 救急車の適正利用の広報活動が、少しずつ町民の方に浸透していると考えられます。また夜間において交通手段がないための要請や頻回利用者からの要請が減少したことも考えられます。</p>						<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
4,571	2,151

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者	消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。

基本事業の成果状況と評価

指標	住宅用火災警報器普及率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【消防本部】	%	53.9	63.5	78.3	80	(向上)
評価	<p>(状況) 警報器の普及率は昨年度と比較して14.8%上昇しています。平成29年6月1日時点の総務省消防庁の全国の条例適合率は66.4%、愛媛県は70.4%となっています。愛南町においては条例適合率55%、設置率78.3%と順調に上昇していますが、前期目標値の80%には少し届きませんでした。</p> <p>(原因) ケーブルテレビ等を活用した住宅用火災警報器の設置推進広報および啓発が少しづつ町民の方へ浸透していると考えられます。</p>					<p>☀ (向上)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>	
指標	予防査察実施の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【消防本部】	%	21.3	10.6	11	25	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年4月現在の管内防火対象物は878件、危険物施設は105件です。査察の実施件数は防火対象物51件、危険物施設58件の合計109件行い、前年度と比較して0.4ポイント向上しましたが、前期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 前年度より査察実施件数は0.4ポイント上昇していますが、救急件数の増加、および救急管外搬送件数の増加に伴い、予防業務に従事する時間が減少しているのが原因です。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>■ 目標達成度</p> <p>■■ (低)</p>	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
85	62

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
消防団	消防団員の確保及び設備の整備等による地域防災力の向上を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	消防団員の定数充足率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【消防本部】 (状況) 平成29年度は95.4%で、平成28年度より0.1ポイント、総合計画開始時点より4.3ポイント向上しましたが、前期計画目標値に届きませんでした。 (原因) 近年、災害が多様化・大規模化する中、様々な役割が消防団に求められていますが、団員の高齢化により退団者が増えたことが原因です。特に町中心地から遠い小さな集落では、住民が減少しており、団員を確保することも難しくなるなど、少子高齢化の影響もあるものと考えられます。	%	91.1	95.3	95.4	100

年度	実績値 (%)	目標値 (%)
H24	91.1	100
H26	95.3	100
H28	95.3	100
H29	95.4	100

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
137,130	127,812

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
310,086	290,837

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 安全な消費生活の確保

基本事業 04-04-05 消費者啓発・教育の充実

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

交通事故発生件数は減少傾向にありますが、高齢者が当事者となる割合は依然として高く、また、交通死亡事故も後を絶ちません。交通安全施設の充実だけでなく、高齢者をはじめ町民への交通安全意識の高揚を図るための継続した啓発事業を行う必要があります。

また、町内における刑法犯も減少していますが、高齢者や若年層を狙った特殊詐欺等予兆事案は依然として発生しています。町民への防犯意識の高揚を図るための啓発事業についても継続して行う必要があります。併せて、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、クーリングオフ制度の周知、消費者相談等の充実に取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.06 (2.96)	3.09 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.55 (3.65)	3.58 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されています。 犯罪の発生が抑制されています。

施策の成果状況と評価

指標	評価	交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき																					
		①	【総務課】	件	47	34	31	44	(向上) 目標達成 (達成)																				
		(状況) 平成29年度は31件で、前年度より3件減少しています。基準値より16件減少し、前期計画目標値を達成しています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少していますが、交通安全協会などの町内関係機関による啓発活動等の効果が成果向上に結びついたと考えられます。	<table border="1"> <caption>交通事故発生件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>44</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>32</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>31</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	H24	47	47	H25	44	47	H26	44	47	H27	32	47	H28	34	47	H29	31	44
年度	実績値	目標値																											
H24	47	47																											
H25	44	47																											
H26	44	47																											
H27	32	47																											
H28	34	47																											
H29	31	44																											
指標	評価	犯罪発生件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき																					
②	【総務課】	件	111	153	124	79	(向上) 目標達成 (低)																						
		(状況) 平成29年度は124件で、前年度より29件減少していますが、基準値の111件より13件増加しており、前期目標値の79件に対しても45件多く、順調でなく、前期計画開始時の基準値よりも増加しました。 (原因) 窃盗犯が前年より34件減少しているものの、刑法犯認知件数に占める窃盗犯の割合が66%と、以前として高い状況にあることが原因と考えられます。	<table border="1"> <caption>犯罪発生件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>111</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>75</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>145</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>115</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>153</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>124</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	H24	111	111	H25	75	111	H26	145	111	H27	115	111	H28	153	111	H29	124	79
年度	実績値	目標値																											
H24	111	111																											
H25	75	111																											
H26	145	111																											
H27	115	111																											
H28	153	111																											
H29	124	79																											

施策のコスト (千円)

H28	H29
21,679	22,782

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会	基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
-----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	町民が第1当事者となった交通事故発生件数 【総務課】	件	33	34	31	32	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は31件で、前年度より3件減少しています。基準値より2件減少し、前期計画目標値を達成しています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少していますが、交通安全協会などの町内関係機関による啓発活動等の効果が表れた結果が成果向上に結びついたと考えられます。						目標達成度 (達成)
②	高齢者の交通事故発生件数 【総務課】	件	24	26	14	17	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は14件で、前年度に比べ12件減少しています。基準値より10件減少し、前期計画目標値を達成しています。 (原因) 交通安全協会をはじめとする関係機関による、高齢者への交通安全啓発活動が浸透したことが成果向上に結びついたと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
5,963	5,911

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、町道	必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	カーブミラー設置箇所数 【総務課】	件	10	15	10	16	(低下)
評価	<p>(状況) 平成29年度は10件で、前年度より5件減少しています。基準値と横ばいの状況にあり、目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 必要な箇所へのカーブミラーの設置が図られてきたことや、道路改良等により視認性の悪い箇所が解消されていることが横ばいの原因と考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
指標②	ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数 【建設課】	m	474.2	165.5	253.2	220	(向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は253.2mで、整備延長は前年度より約100m増加しました。基準値からは221m減少していますが前期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 交通安全施策としては、順次必要なガードレール・ガードパイプの整備が図られていることが成果向上に結びついたと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
7,301	7,395

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されています。</p>
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると思う町民の割合 【総務課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	-	85.5	90.1	-	
評価	<p>(状況) 平成29年度は90.1%で、昨年度より4.6ポイント増加しています。9割の町民が犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると感じています。</p> <p>(原因) 凶悪犯罪の発生がほとんどなく、刑法犯の認知件数も減少しているためと考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>---</p>

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
8,314	9,363

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 安全な消費生活の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	消費者が安全な消費生活を送ることができます。

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	消費生活相談の解決策を提示できた件数 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	35	70	71	40	
評価	(状況) 平成29年度は71件で前年度より1件増えています。基準値からも36件増えており前期目標値を達成しています。 (原因) 防災無線の活用や、高齢者を対象とした講習会の開催により、相談窓口の存在が住民に広く周知できた結果が成果向上に結びついたと考えられます。						(向上)
							目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-05 消費者啓発・教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 町民に対する消費生活における啓発・教育を充実させます。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【商工観光課】	-	76.1	81.7	-	
評価	(状況) 平成29年度は81.7%で前回調査と比較して、5.6ポイント増加しています。 (原因) 防災無線等を活用した啓発活動により、住民に広く周知が出来ているとことが向上した要因と考えられます。					

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
101	113

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化の進展や人口減少問題が本格化する中、住民ニーズの多様化・複雑化、老朽施設の維持更新、想定外の災害への対応など、今後の地方行財政を取り巻く環境は、一段と厳しい状況となることを見込まれています。

こうした状況に対応するため、職員の政策形成能力向上のための人材育成、行政改革の推進、自主財源の確保、情報セキュリティの強化及び情報資産の適切な管理に務めながら、総合計画、行政評価及び予算編成が連動した、簡素で計画的・効率的な行財政運営システムを構築していくことが求められています。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.93 (2.96)	2.93 (2.97)	→
重要度	--- (---)	3.61 (3.65)	3.61 (3.65)	→

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	指標の名称	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	施策成果指標の目標値の達成割合 【企画財政課】	%	-	23.9	30.4	70	指標のうごき (向上)
評価	<p>(状況) 対前年度指標値比較は6.5ポイント向上し、行政評価開始時点から15.2ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは46の施策の成果指標中14の施策の成果指標にとどまり、前期目標値に届きませんでした。</p> <p>(原因) 第2次総合計画前期基本計画期間(H26~H29)が終わり、目標値を達成できた施策の成果指標数が伸びています。成果志向での行政経営管理とマネジメントサイクルが適正に行われ始めている結果と考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
②	町の行財政運営が効率的・効果的に行われていると思う町民の割合 【企画財政課】	%	76.4	81.2	82.1	82.8	指標のうごき (向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は82.1%で、前年度と比較して0.9ポイント向上しています。基準値に対し5.7ポイント向上しましたが、前期目標値に対しては0.7ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 町の行財政運営が効率的・効果的に行われていると思う人の割合は1.6ポイント向上し、一方、効率的・効果的に行われていないと思う人の割合は1ポイント低下していることから、町民の行財政全般に対する信頼度が向上したものと考えられます。ただ、全体の40.6%が分からないと回答しており、積極的な情報提供が必要と考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(高)</p>
③	実質公債費比率 【企画財政課】	%	12.1	6.3	6.1	7.1	指標のうごき (向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は6.1%で、前年度と比較して0.2ポイント低下しました。基準値から6.0ポイント低下し、前期目標値からも1.0ポイント低下しており、財政の健全化は順調に進んでいますが、単年度で見ると0.73ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 合併特例措置の縮減等に伴う普通交付税が2億1,917万9千円減少したことが、単年度で0.73ポイント上昇した主な要因となっています。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
④	将来負担比率 【企画財政課】	%	34.1	9.5	6.3	33.7	指標のうごき (向上)
評価	<p>(状況) 平成29年度は6.3%で、前年度と比較して3.2ポイント低下しました。基準値から27.8ポイント低下し、前期目標値からも27.4ポイント低下しており、財政の健全化は順調に進んでいます。</p> <p>(原因) 地方債の発行を償還が上回り、結果、地方債残高が5億7,585万円減少したことが主な低下の要因となっています。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

施策のコスト (千円)

H28	H29
5,853,944	6,892,707

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	効果的・効率的な行政運営を行い、住民サービスを向上させます。

基本事業の成果状況と評価

指標	基本事業成果指標の目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【企画財政課】	%	-	31.9	40.2	70	
評価	<p>(状況) 対前年度指標値比較は8.3ポイント向上し、行政評価開始時点から15.7ポイント向上しましたが、目標値を達成できたのは204の基本事業成果指標中82の基本事業成果指標にとどまり、前期目標値に届きませんでした。</p> <p>(原因) 第2次総合計画前期基本計画期間(H26~H29)が終わり、目標値を達成できた基本事業の成果指標数が伸びています。成果志向での行政経営管理とマネジメントサイクルが適正に行われ始めている結果と考えられます。</p>	(%)				目標達成度 (中)	

指標	行政改革実践件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【総務課】	件	19	23	26	32	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、26事業と前期目標値には届いていませんが、昨年度より3事業増加し、基準値は達成しています。効果的な行政運営のための取組みが徐々に増加しています。</p> <p>(原因) 行政改革実践件数には、事業実施に向けて解決すべき課題があるもの、長期的な取り組みが必要なものなどもあるため、目標値に届かなかったのではないかと考えます。</p>	(件)				目標達成度 (高)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
20,349	28,387

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	適正な職員数により効率的な行政組織の構築します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	人口1,000人に対する職員数 【総務課】	人	16.5	16.1	16.0	17.5	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は16.0人で、前年度と比較して0.1人減少しています。基準値からも0.5人減少しており、前期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 昨年度に引き続き、新規採用者の採用枠を退職者の5割程度に抑制し職員数の削減を進めていることが成果に結びついたと考えられます。</p>					目標達成度 (達成)	
指標②	町職員の応対ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 【総務課】	%	73.8	79.7	82.3	75	(向上)
評価	<p>(状況) 前回のアンケート結果より2.6ポイント向上し、基準値よりも8.5ポイント向上しており、前期目標値を達成しました。</p> <p>(原因) アンケートでは、町職員の応対ぶり等に対する満足度が、満足・やや満足・普通という回答が82.3%という結果でした。各年代で「不満」「やや不満」と回答された方の前回比がそれぞれ減少していることから、住民の町職員に対する満足度が向上し、成果に結びついたと考えます。</p> <p>一方で、住民からの苦情も少なからずあることから、今後も接遇研修等を通じて公務員としての自覚と職業意識の醸成に努めることが必要と考えます。</p>					目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の自主財源、町民、町の財政	基本事業がめざす姿 自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	一人あたりの地方債残高	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【企画財政課】	千円	873	978	979	946	(横ばい)
評価	(状況) 住民一人あたりの地方債残高は、平成29年度末で97万9千円で、平成28年度と比較して1千円増加しました。また、基準値に対し10万6千円、目標値に対し3万3千円それぞれ増加しました。 (原因) 地方債残高は、平成29年度末が212億8,943万7千円で、平成28年度末と比較して5億7,585万円減少しましたが、平成29年度末の住民基本台帳人口が21,756人で、平成28年度と比較して593人減少したため、結果、一人あたりの地方債残高は1千円増加しました。ただ、地方債現在高については、今後減少していく見通しです。					(高) ■■■	
②	【企画財政課】	%	88.9	95.5	95.9	94	(向上)
評価	(状況) 町税の収納率は、平成29年度95.9%で、平成28年度と比較して0.4ポイント向上しました。基準値に対しても7.0ポイント向上し、目標値に対しても1.9ポイント向上しています。 (原因) 納税相談や滞納処分(平成29年度113件)を積極的に実施したことが、収納率向上の要因と考えられます。					(達成) ■■■	
③	【企画財政課】	%	89.2	88.2	91.2	92.7	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は91.2%で、平成28年度より3ポイント上昇しました。基準値よりは2ポイント上昇しましたが、目標値よりは1.5ポイント低下しました。 (原因) 合併特例措置の縮減等に伴い、普通交付税が平成28年度と比較して2億1,917万9千円減少したことや、ごみ処理の広域化に伴いごみ収集委託料や宇和島地区広域事務組合負担金が増加したことなどが主な要因となっています。					(達成) ■■■	

基本事業のコスト (千円)

	H28	H29
	36,412	25,923

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政、事業者	基本事業がめざす姿 情報インフラを活用し、地域の情報化を推進するとともに、情報の管理を適切に行います。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	インターネットを活用している町民割合 【総務課】	%	-	78.2	74.8	80	(横ばい)
評価	(状況) 前回町民アンケートより3.4ポイント低下しており、前期目標値に届きませんでした。 (原因) 町が整備をしている光インターネットのサービス利用者は徐々に増加しており、スマートフォンなどのモバイル通信機器も普及していますが、年代別の回答で高齢者の利用率が低いことから、高齢化率の上昇が指標地の低下に影響していると考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (高)
指標②	セキュリティ事故件数 【総務課】	件	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況) セキュリティ事故件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 情報セキュリティ強化対策（インターネット及び基幹系システムネットワークの分離など）や情報セキュリティに関する職員研修（eラーニングなど）など、継続的に物理的・技術的・人的セキュリティの強化を図っていることが成果に結びついたと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)
指標③	システムダウン件数 【総務課】	件	1	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況) システムダウン件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 機器的なシステム障害等はありませんでしたが、住民サービスに影響するシステム障害は発生しておりません。各種システムの監視体制の強化や障害発生時の対応手順等の見直しを図ることにより、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えます。また、機器及びシステム異常等のログの確認及び機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
382,803	344,765

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
5,414,380	6,493,632

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-06-01 町有管理地の活用・管理

基本事業 04-06-02 公共施設数の適正化

基本事業 04-06-03 公共施設の維持管理

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

過去に建設された公共施設が、これから大量に更新時期を迎えます。しかし、今後見込まれる人口の減少や高齢化等、そして厳しい財政事情から、公共施設の老朽状況や使用頻度などを考慮し、計画的・効率的な維持管理を行うとともに、用途の見直しや統廃合など施設の在り方を検討していく必要があります。

これに伴い、平成28年度に愛南町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の現況、将来の見通し及び計画的な管理に係る基本的な方針を立てました。今後は、引き続き当該計画を基により詳細な個別施設計画を策定し、公共施設の適正化と有効利用を図ります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	2.96 (2.96)	2.97 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.40 (3.65)	3.43 (3.65)	➔

※（ ）内は、24施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
公共施設及び土地	公共施設の老朽状況及び利用率並びに人口に見合うよう公共施設を適正化するとともに、その有効利用を図ります。

施策の成果状況と評価

指標	町民一人当たりの公共施設維持管理費	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき	
①	【総務課】	円	-	-	-	-	---	
評価	---						目標達成度	---

指標	町民一人当たりの公共施設延床面積	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき	
②	【総務課】	m ²	10.0	10.9	11.0	10.9	(横ばい)	
評価	(状況) 平成29年度は11.0m ² で、平成28年度より0.1m ² 増加しています。基準値からも1.0m ² 増加しており、総合計画の前期目標値には届きませんでした。 (原因) 町民一人当たりの公共施設延床面積は、年々微増していることから、人口の減少が低下の原因と考えられます。						目標達成度	■■■ (高)

指標	耐用年数を超えている公共施設数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき	
③	【総務課】	施設	32	51	53	23	(横ばい)	
評価	(状況) 平成29年度は53施設で、平成28年度より2施設増加しています。基準値からも21施設増加しており、総合計画の前期目標値には届きませんでした。 (原因) 耐用年数を経過した施設が増加したことが低下の原因と考えられます。						目標達成度	■■ (低)

施策のコスト (千円)

H28	H29
287, 169	233, 973

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-01 町有管理地の活用・管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町有管理地	基本事業がめざす姿 効率的で適切な管理を行うとともに、有効活用を図ります。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町有管理地の維持管理費	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【総務課】	千円	417	275	500	200	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は500千円で、平成28年度より225千円増加しています。基準値からも83千円増加しており、総合計画の前期目標値には届きませんでした。 (原因) 修繕件数は前年度と同じく8件ですが、町有施設等の老朽化に伴って1件当たりの修繕額が増加したことが低下の原因と考えられます。						目標達成度 (低)
指標	未利用地の面積	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【総務課】	㎡	13,245	13,087	13,087	10,939	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は13,087㎡で、横ばいの状況にあります。基準値からは158㎡減少していますが、総合計画の前期目標値には届きませんでした。 (原因) 未利用地の面積は前年に比べ増減しておらず、売却等がなかったことが横ばいの原因と考えられます。						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,919	15,571

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-02 公共施設数の適正化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町の公共施設	基本事業がめざす姿 人口や利用状況を踏まえて、公共施設総量の適正化と機能再編・統合を進めます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	遊休施設保有数（閉・休・廃館等） 【総務課】	施設	19	11	10	10	
評価	(状況) 平成29年度は10施設で、平成28年度より1施設減少しています。基準値からも9施設減少しており、総合計画の目標値を達成しています。 (原因) 老朽化に伴って遊休施設を解体したことが成果向上に結びついたと考えられます。	(施設)					
指標②	公共施設の平均稼働率 【総務課】	%	-	-	-	-	---
評価	---						---
指標③	適正化された公共施設数 【総務課】	施設	-	-	-	-	---
評価	---						---

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
84,823	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-03 公共施設の維持管理

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町の公共施設</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>適切な維持管理を行うことにより、安全で快適に利用できます。</p>
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	公共施設に係る修繕費	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【総務課】</p> <p>(状況) 平成29年度は60,413千円で、平成28年度より8,724千円減少しています。基準値からも2,951千円減少しており、総合計画の目標値を達成しています。 (原因) 環境衛生センターの焼却炉が閉鎖したこと等により、大きな修繕が発生しなかったことが成果向上に結びついたと考えられます。</p>	千円	63,364	69,137	60,413	

年度	実績値 (千円)
H24	63,364
H26	60,000
H28	69,137
H29	60,413

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
196,107	218,402

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
4,320	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

子どもたちの主体的な学びの創造を支援するとともに、児童・生徒一人ひとりに応じた指導を徹底して、確かな学力の定着・向上と心身の健全育成に取り組めます。
 複式学級への支援や特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を充実させ、全ての子どもたちが学校生活によりよく適応できるよう総合的な施策を推進します。
 心身ともに健康な児童・生徒を育成するために、基本的な生活習慣・日常的な運動習慣の定着に努めていきます。
 子どもの健全育成のため、栄養バランスがとれた安心安全な給食の提供に努めます。また、時代の変化とともに増えてきたアレルギーのある子どもに対応した給食を充実させます。
 安心安全な学校づくりを推進するため、各教育施設を点検・整備し計画的な改修、改築等を行っていきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.10 (2.96)	3.09 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.66 (3.65)	3.66 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒	心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	楽しく学校生活を送っている児童（小学生）の割合 【学校教育課】	%	93.8	95.0	92.8	95	
評価	<p>(状況) 平成29年度は92.8%で、前年に比べて2.2ポイント減少しています。基準値も1ポイント下回っており、前期目標に2.2ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 楽しいと思っていない児童には、友達関係、勉強、家族のこと等、様々な理由が考えられます。また、その時の気分で答えている児童もいると思われます。</p>	(%)					
指標②	児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 【学校教育課】	%	94.3	93.7	94.4	95	
評価	<p>(状況) 平成29年度は、94.4%で前年に比べて0.7ポイント増加しています。基準値は0.1ポイント上回っていますが前期目標には0.6ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 児童相互の人間関係、学級担任と保護者、学校と保護者の関係が良好であるといえます。</p>	(%)					
指標③	楽しく学校生活を送っている生徒（中学生）の割合 【学校教育課】	%	92.4	94.4	93.9	95	
評価	<p>(状況) 平成29年度は93.9%で、前年に比べて0.5ポイント減少していますが、基準値は1.5ポイント上回っています。前期目標には1.1ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 日々の学校生活が充実していること、友達や教師との人間関係が良好であることなどが原因だといえます。</p>	(%)					
指標④	生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 【学校教育課】	%	90.1	94.4	92.9	95	
評価	<p>(状況) 平成29年度は92.9%で、前年に比べて1.5ポイント減少していますが、基準値は2.8ポイント上回っています。前期目標には2.1ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 生徒の言動、学校からの情報発信等により、学校に対する安心感・信頼感が生まれていると考えられます。</p>	(%)					

施策のコスト（千円）

H28	H29
762,365	804,778

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学校	基本事業がめざす姿 自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。
-----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	授業が分かるという児童の割合 【学校教育課】	%	92.6	94.7	94.1	95	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 平成29年度は94.1%で、前年に比べて0.6ポイント減少していますが、基準値は1.5ポイント上回っています。前期目標には0.9ポイント届きませんでした。 (原因) 県の学力向上3か年計画に沿って、授業改善を行っていることが、数値の向上につながっていると考えられます。						
指標②	授業が分かるという生徒の割合 【学校教育課】	%	88.6	88.3	89.0	90	(向上) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 平成29年度は89.0%で前年に比べて0.7ポイント増加し、基準値も0.4ポイント上回っています。しかし前期目標には1ポイント届きませんでした。 (原因) 各学校において、生徒一人一人の実態に応じた個別指導や少人数指導、TT指導等のきめ細やかな指導体制の工夫が行われています。						
指標③	学習習慣ができている児童の割合 【学校教育課】	%	91.7	90.1	81.2	90	(低下) 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況) 平成29年度は81.2%で前年に比べて8.9ポイントと大きく減少しています。基準値も10.5ポイント下回っており、前期目標に8.8ポイント届きませんでした。 (原因) 前年度低かった学年が、今年度も低く、家庭との連携が図りにくい現状があるのではないかと考えられます。						
指標④	学習習慣ができている生徒の割合 【学校教育課】	%	69.5	81.9	80.4	90	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 平成29年度は80.4%と前年に比べて1.5ポイント減少しています。基準値も10.9ポイントと大きく上回っていますが、前期目標には8.6ポイント届きませんでした。 (原因) 授業と連動した家庭学習や、予習・復習を含めた自主学習の指導が充実してきたと考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
186,261	207,568

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		①	【学校教育課】	件	1	3	4
	(状況) 平成29年度は4件で前年に比べて1件増加しています。基準値も3件上回っていますが、前期4か年の平均値6.25件よりは2.25件下回っています。前期目標には届きませんでした。 (原因) 各学校が、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・早期解決に努めています。						(低) 目標達成度
②	【学校教育課】	人	3	2	5	5	(低下)
	(状況) 平成29年度は5人で、前年度より3人増加しています。基準値も上回っていますが、前期目標は達成しています。 (原因) 欠席日数が増える要因はさまざまです。保護者や関係機関と連携しながら再登校を促す必要があります。						(達成) 目標達成度

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
3,579	2,946

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
幼稚園、小中学校	健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数 (小5・中2)	項目	12	14	25	20	 (向上) 目標達成度 (達成)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 平成29年度は25項目で前年に比べて11項目増加しています。基準値も13項目と大きく上回っており、前期目標を達成しました。 (原因) 目標の持たせ方、意欲の持たせ方、実施までの主体的な練習のさせ方等において工夫したためです。						
指標②	小児生活習慣病検査の精検者における受診率 (小4・中1)	%	41	64.5	47.6	70	 (低下) 目標達成度 (低)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 平成29年度は47.6%で前年度に比べて16.9ポイント減少しています。基準値は6.6ポイント上回っておりますが、前期目標には届きませんでした。 (原因) 平成29年度は肥満と判定された児童生徒が多かったため、学校が保護者に受診を勧めていますが、肥満と判定された児童生徒と経過観察の児童生徒の保護者が受診の必要性を強く感じていなかったことが考えられます。						
指標③	日常で十分運動している児童・生徒の割合	%	-	76.1	79.2	80	 (向上) 目標達成度 (高)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 平成29年度は79.2%と前年に比べて3.1ポイント増加していますが、前期目標には0.8ポイント届きませんでした。 (原因) 中学生女子が76.5%で前年に比べ11.9ポイント増加させていることが、増加した要因と考えられます。しかし、小学5年女子が前年に比べポイントを減少させているなど、年度によって女子の運動量に幅があることが考えられます。						
指標④	基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合 (早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど)	%	85.1	86.1	86.1	90	 (横ばい) 目標達成度 (高)
	【学校教育課】						
評価	(状況) 平成29年度は86.1%と前年と同じポイントとなっています。基準値は1ポイント上回っていますが、前期目標に3.9ポイント届きませんでした。 (原因) 各学校での基本的な生活習慣に対する指導や、家庭への啓発が継続されています。						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
142,450	146,220

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
幼稚園、小中学校	子どもが安心安全な環境で学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。

基本事業の成果状況と評価

指標	施設維持管理上の不具合件数 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	151	129	135	150	
評価	<p>(状況) 平成29年度は135件で、前年に比べて6件増加しておりますが、前期目標値の150件を下回り前期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 町内学校施設は全体的に老朽化が進んでおり施設関係の劣化による不具合箇所は発生していますが、学校と密に連絡を取り初期段階で状況を確認し改善することを継続しており、施設不具合箇所の影響が拡大する前の対応ができていることが原因と思われます。</p>						(低下)
		目標達成度	(達成)				
指標	登下校の事故・トラブル件数 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		件	9	7	7	0	
評価	<p>(状況) 平成29年度は7件となり、前年度と同件数となっています。基準値を2件下回っていますが、前期目標には届きませんでした。</p> <p>(原因) 不審者の被害がないのは、学校で防犯訓練をしていることや発見者が素早く通報し、警察やスクールガードリーダーと連携することができていることが原因だと考えられます。</p>						(横ばい)
		目標達成度	(低)				

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
187, 147	201, 592

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

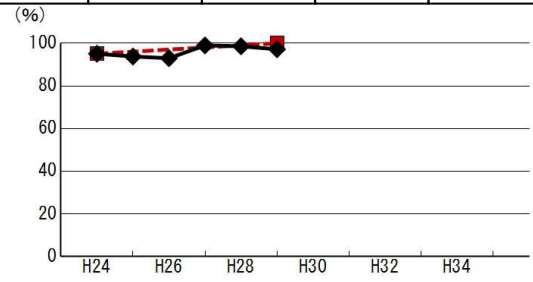
基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 教職員	基本事業がめざす姿 教職員の資質・能力の向上を図ります。
----------------	---------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	研修や自己研鑽を行っている教職員の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	【学校教育課】 (状況) 平成29年度は97.2%と前年に比べると1.4ポイント減少しています。基準値は2.1ポイント上回っていますが、前期目標には届きませんでした。 (原因) 平成29年度はえひめ国体などの対応があり、学校業務の研修時間が減少したと感じられたことと、個人差により、どうしても、回数や内容が十分ではないと、感じる教職員がいることが考えられます。	%	95.1	98.6	97.2	100



基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
242,928	246,452

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業 05-02-02 生涯学習情報の提供

基本事業 05-02-03 青少年の健全育成

基本事業 05-02-04 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業 05-02-05 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化や高度情報化、価値観の多様化により、生涯学習に対する住民ニーズも大きく多様化しています。これに合わせ、町民が求める学習活動の把握に努め、生涯学習メニューの検討が必要であり、地域活性化への貢献、青少年の健全育成及び地域に根ざした公民館活動の充実に加え、防災教育との連携など新たな生涯学習メニューの拡充について検討します。また、老朽化した施設の長寿命化を推進し、さらに図書館や資料館など新たな生涯学習施設の整備について検討します。

人口の減少と少子高齢化によって、文化団体の活動や伝統行事の運営などが難しい状況にあります。地域文化の次世代への継承を考慮しつつ、住民ニーズの多様化に則した文化事業の充実に取り組んでいきます。

文化財保護行政については、開発行為等により文化財の価値を損なうことが無いように、事前に開発行為を把握し調整する措置を取っています。そして愛南町は、四国八十八ヶ所霊場と遍路道の世界遺産登録に向けて取り組んでいますが、その第一歩として、小山に所在する松尾峠について調査を実施し、国史跡として指定を受けるべく、文部科学大臣に意見具申を行いました。平城貝塚については、町外で保管されてきた資料を町内に戻し、里帰り展を開催しました。これらについては、再評価に取り組むと共に、その成果を基本に学校教育等で活用し、地域の魅力の一つとして発信することに取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.06 (2.96)	3.06 (2.97)	→
重要度	--- (---)	3.46 (3.65)	3.47 (3.65)	→

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習に取り組んでいる町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	11.1	12.3	16.8	30	
評価	<p>(状況) 平成29年度は16.8%で、平成28年度より4.5%向上しました。基準値からは5.7%向上していますので、向上の傾向にあると思われます。</p> <p>(原因) 20代から40代の活動割合が低い結果が出ています。仕事等により、時間に余裕がないことが原因の一つであると考えられます。前年に比べると、生涯学習講座の受講者が増加したものの、参加する世代層の固定化が進んでいます。講座等を開催する時間帯や、子育て世代が参加しづらいなどの理由などで、生涯学習に取り組む人の増加に繋がっていない状況があると思われます。</p>						(横ばい)
							目標達成度

施策のコスト (千円)

H28	H29
404,918	398,145

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町主催の生涯学習に参加した町民の延べ参加者数 【生涯学習課】	人	14,465	20,997	24,839	20,000	(向上)
評価	(状況) 前年に比べ、参加者が3,842名増加しています。また、前期目標値の20,000人を達成しています。 (原因) 公民館事業において、新たに37事業増え、実施回数も増加しました。特に体験活動事業と体育レクリエーション関係の事業数が増加し、事業参加者数が増加したと考えられます。						目標達成度 (達成)
指標②	生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	77.5	83.1	80.8	90	(低下)
評価	(状況) 前回に比べて2.3ポイント低下し、前期目標値の90%には届きませんでした。 (原因) 平成28年度と同様、50～60歳代で「不満」と回答した方の割合が高くなっています。成人を対象にした事業や実施回数を増やすなど、学習機会の改善に努めていますが、開催時間や講座内容などがミスマッチしている可能性があります。						目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
19,464	20,775

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 生涯学習情報の提供

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 生涯学習に関する情報を十分に収集できていると思う町民が増加します。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	(状況) 前年に比べ、2.2ポイント低下しました。基準値からは5.1ポイント向上しましたが、前期目標値に届きませんでした。 (原因) 町広報や公民館だより、町ホームページなどを利用して生涯学習の情報を提供しており、約8割の町民が満足しているものの、50～60歳代の方の満足度がやや低くなっています。50～60歳代の方が求めている学習機会や関連する情報が提供できていない可能性が考えられます。	%	74.1	81.4	79.2	90

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 小中学生	基本事業がめざす姿 青少年が健全に育成されるように支援します。
-----------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	地域の子どもの育成活動や学校教育への支援に積極的に関わっている町民の割合 【生涯学習課】	%	15.8	10.5	11.6	30	
評価	(状況) 前年に比べて教育支援に関わる町民の割合が1.1ポイント上昇していますが、前期目標値に届きませんでした。 (原因) コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入や子育て支援活動への参加呼びかけ等により保護者だけでなく、子どもの健全育成に関心がある住民の参画が見られますが、人材は固定化しています。また、子育てを終えた世代の参加が伸び悩んでおり、指標値の上昇に繋がっていません。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
3,848	3,857

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、生涯学習施設	生涯学習施設を整備し、多くの町民が利用します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	生涯学習活動を行なう施設が充足していると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	88.8	87.4	89.1	90	(横ばい)
評価	(状況) 前年に比べ、満足度が1.7ポイント上昇しましたが、前期目標値には届きませんでした。 (原因) 施設数には増減はありませんが、老朽化した箇所の機能改善や修繕を行うなど、利用者への利便性の向上に努めたことにより満足度が上がったと考えられます。						目標達成度 (低)

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 【生涯学習課】	件	0	0	1	0	(低下)
評価	(状況) 施設の不具合が1件発生したため、前年度及び前期とも目標値に達しませんでした。 (原因) 御荘文化センターにおいて、空調機器の故障が原因で空調が使用できない期間があったためです。						目標達成度 (低)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
122, 179	118, 267

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-05 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	文化活動及び地域文化の保護・継承を推進することにより、町民の文化意識が向上します。

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	文化活動への参加者数（芸術・文化・歴史） 【生涯学習課】	人	82,421	78,994	75,927	90,000	指標のうごき
評価	<p>(状況) 前年度に比べて3,067人減少しました。前期目標値に対する前期数値の比率は92%で、8%届きませんでしたが高比率を維持しているといえます。</p> <p>(原因) 高齢化に伴う文化協会の団体や会員の減少に加え、文化芸術による子供の育成事業が1校も採択されなかったことによるものと考えられます。</p>					<p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標②	文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合 【生涯学習課】	%	70.4	76.5	74.9	77	指標のうごき
評価	<p>(状況) 前年度から0.5ポイント向上しています。前期目標値は70.4%でしたが、前期数値は77%となり、約7ポイント向上しました。</p> <p>(原因) 文化センターでの自主事業、生涯学習講座の開催とケーブルテレビでの放送、国庫補助事業を活用した文化財に関する普及啓発事業等が効果を上げたと考えられます。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標③	伝統行事保存団体数 【生涯学習課】	団体	15	14	14	15	指標のうごき
評価	<p>(状況) 前年度の数値と変化はありません。少子高齢化の進展により、どの保存会も伝統行事の保存継承に苦労しています。前期目標値に対する前期数値の比率は93%で、高い比率を維持しているといえます。</p> <p>(原因) 県指定文化財の保存団体への助成、CATVの放映などによる広報啓発、文化祭でのオープニング出演等を実施していますが、現状の数値を維持するにとどまっています。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	
指標④	文化財の指定及び登録件数 【生涯学習課】	件	111	111	111	120	指標のうごき
評価	<p>(状況) 前年度の数値と変化はありません。前期目標値に対する前期数値の比率は92%で、高い比率を維持しているといえます。</p> <p>(原因) 指定文化財への災害等による被害が無く、それぞれの管理主体において健全に保全されています。平成29年度に遍路道松尾峠の地形測量を行い、国史跡の指定に向けて文部科学大臣に意見を具申しましたので、来年度は1件増となる見込みです。</p>					<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
16,515	20,795

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
242,912	234,451

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設・設備の整備

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

子どもたちを取り巻く社会環境の変化とスポーツ習慣の低下等により、スポーツ少年団への加入率が伸び悩んでいる状況のため、指導者の育成や新しい競技の導入など小学生がスポーツ少年団活動に参加できる環境整備が求められます。また、スポーツ活動に親しむ町民の割合は横ばい状況にあるため、町主催の大会・教室の充実を図るとともに、少子・過疎化の進展などにより、今後はチームスポーツの編成が困難となることが予測されるため、新たな個人スポーツの導入や施設整備など、長期的なスポーツ環境の整備が必要です。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.12 (2.96)	3.07 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.38 (3.65)	3.38 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>町民ニーズにあったスポーツや運動を通じて、健康増進を図ります。</p>
------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	評価	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	スポーツ活動に親しむ町民の割合 【生涯学習課】	%	27.3	29.6	29.4	27	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は29.4%で、前年に比べて0.2ポイント減少しましたが、前期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 各世代を通じて、29歳以下の若い世代がスポーツを行っていないとの結果がでているため、若年層への啓発強化により、数値が向上する可能性があります。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
指標②	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合 【生涯学習課】	%	15.9	13.4	13.9	16	(横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度より0.5ポイント上回りましたが、前期目標値である16%に届きませんでした。</p> <p>(原因) 若年層の人口減少に伴い、野球やサッカーなどのチーム数が減少していることが要因と考えられます。</p>						<p>目標達成度</p> <p>(高)</p>

施策のコスト (千円)

H28	H29
146,894	151,220

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種スポーツ指導者数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【生涯学習課】	人	32	23	21	30	(横ばい)
評価	(状況) 対前年度登録者比較で2名減少しています。基準値からも11名減少しており前期基準値に届きませんでした。 (原因) 登録者の住所移転によるものです。現在、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の制度改定に向け準備が進められ、平成32年度より新制度の運用が完全実施されるため、各種競技団体に対して、新制度の概要について説明し、優秀なスポーツの指導能力を有する人材の育成に取り組みます。						目標達成度 (中)
②	【生涯学習課】	人(団体)	14(3)	11(6)	8(3)	14(3)	(低下)
評価	(状況) 対前年度指標値比較は、個人(団体)ともに3(3)件減少し、前期目標値比較では個人件数が届きませんでした。 (原因) 一般の競技種目での顕彰者の減少が要因です。小・中・高校生においては、相撲・剣道・陸上競技において好成績を収めました。						目標達成度 (中)
③	【生涯学習課】	%	57.2	59	52	55	(低下)
評価	(状況) 平成29年度は52.0%で、前年に比べて7.0ポイント低下しています。前期目標値にも3%届きませんでした。 (原因) 少子化及びスポーツ習慣の低下が考えられ、今後も児童数の減少により加入率も低下していくことが予想されます。できるだけ多くの児童にスポーツの楽しさや夢を育む環境を整えるため、次年度以降にスポーツ教室を開催したいと考えています。 (平成29年度児童数6月1日現在 804名 登録数 418名)						目標達成度 (高)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
6,260	6,304

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政、町民	各種スポーツ活動への参加機会が充実します。

基本事業の成果状況と評価

指標	項目	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した延べ人数 【生涯学習課】	人	1,932	775	1,787	2,000	(向上)
評価	(状況) 平成29年度より1,012人増加しましたが、前期目標値には届きませんでした。 (原因) 前期目標値に届かなかったのは、えひめ国体の開催によりスポーツフェスタin愛南を中止としたため、参加者数が減少となったためです。今後も、人口の減少により大会等への参加者数の減少が予想されますが、参加者のニーズに沿った大会運営に心がけ、参加意欲を向上させることにより、目標値を達成できる余地があるのではないかと考えます。						目標達成度 (高)
指標②	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合 【生涯学習課】	%	76.9	87.9	82.0	77	(低下)
評価	(状況) 前年度より5.9ポイント減少していますが、前期目標値は達成しています。 (原因) 各競技団体等が工夫しながら大会を企画、運営している成果であると考えられます。ただし、男女共通して満足度は普通という意見が大半を占めているため、マンネリ化を防いで魅力的な大会・教室を開催して新規参加者の取り込みを行うことが求められます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
24,957	25,851

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設・設備の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。

基本事業の成果状況と評価

指標①	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	評価	【生涯学習課】 (状況) 前年度より1,936人減少しましたが、前期目標値は達成しています。 (原因) えひめ国体開催のために整備したあけぼのグラウンドの利用者は順調に増えていますが、B&G海洋センターとその他の体育施設の利用者が前年度に比べ減少しています。	人	148,072	160,771	158,835	138,000

指標②	スポーツ施設の不具合・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	評価	【生涯学習課】 (状況) 不具合やトラブルがなく、良い状況として横ばいを維持しています。 (原因) 前年と同様に公民館等と連携して施設の巡回を行い状況を把握することで、早期に対応するなど現状を維持するための取り組みを行ったからだと考えられます。	件	0	0	0	0

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

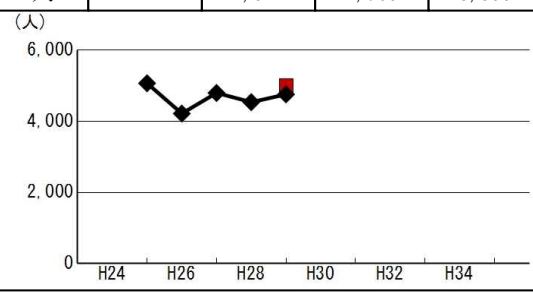
基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>スポーツツーリスト、町民、行政</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。</p>
---------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標 ①	スポーツツーリズムによる観光客数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【生涯学習課】</p> <p>(状況) 前年度より219人増加しましたが、前期目標値の5,000人には届きませんでした。 (原因) トライアスロン大会参加者が平成28年度は雨天のため減少しましたが、平成29年度は天候に恵まれ例年並みに回復したことが前年から増加した要因です。</p>	人	-	4,541	4,760	



基本事業のコスト（千円）

H28	H29
0	0

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
115,677	119,065

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子・高齢化に伴い、介護を要する高齢者の増加、老老介護、家族の負担増など、虐待の要因が増加傾向にあります。また、子どもの貧困率の増加、インターネットやSNS等によるいじめの問題が今もなお、大きな社会問題となっています。いじめ防止は勿論ですが、平成28年度には、障がい者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法や部落差別解消法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた取り組みを進めていますが、依然として同和問題をはじめ、女性や子ども、高齢者・障がい者等への人権侵害が多く発生し問題になっています。基本的な人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要であります。

施策に対する住民のニーズ

隔年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	H27	H28	H29	うごき
満足度	--- (---)	3.04 (2.96)	3.02 (2.97)	➔
重要度	--- (---)	3.38 (3.65)	3.40 (3.65)	➔

※ () 内は、24施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、学校、企業及び団体	基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や学校、地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会が確立します。

施策の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】	%	9.5	12.1	10.1	9	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は10.1%であり、平成28年度より2ポイント減少しています。基準値からも0.6ポイント微増しており、前期目標値の9%には少し届きませんでした。達成度は高いといえます。</p> <p>(原因) 30代から60代では、アンケートの「ある」の値が減少しており、差別に対する意識向上が図られたと思われます。逆に20代は、平成28年度比から21.1ポイント増加し目立ちます。コミュニケーションツールとしてスマホ携帯等のSNSにおける目に見えないところでの差別や偏見が原因と考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)
②	出身、性別、国籍、年齢、病気、障害の有無等の人権に係わる差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】	%	96.5	97.7	98.4	100	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は98.4%であり、平成28年度より0.7ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲と考えられます。基準値より1.9ポイント増加しており、前期目標値の100%には届きませんでした。達成度は高いといえます。</p> <p>(原因) 平成28年度同様、アンケートの「はい」の値が、性別、年齢層ともポイントが高くなっていることが伺えます。学校での人権教育や人権啓発活動を続けていることで、差別解消の意識向上の成果に結びついていると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)

施策のコスト (千円)

H28	H29
14,341	13,698

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、企業及び団体</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>あらゆる差別や偏見を解消する人権尊重意識の高揚を図ります。 お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性を持った児童・生徒を育てます。</p>
---------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	内容	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
指標①	<p>学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合</p> <p style="text-align: right;">【人権啓発室】</p>	%	35.3	34.8	39.6	45	<p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	<p>(状況) 平成29年度は39.8%であり、平成28年度より4.8ポイント増加しています。前期目標値の45%に届いていませんが、基準値が4.3ポイント増加であることから順調といえます。</p> <p>(原因) 平成28年度同様、アンケートの「はい」の値が、年齢層の65歳から69歳代を除いてポイントが高くなっていることが伺えます。学校での人権教育や人権啓発活動を続けていることで差別解消の意識向上につながり、成果に結びついていると考えられます。</p>						
指標②	<p>相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合</p> <p style="text-align: right;">【人権啓発室】</p>	%	73.2	79.5	78.3	100	<p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>
評価	<p>(状況) 平成29年度は78.3%であり、平成28年度より1.2ポイント減少しましたが、統計誤差の範囲と考えられます。前期目標値が100%に届いていませんが、基準値より5.1ポイント高くなっていることから、概ねやさしい児童・生徒が育っていることがうかがえます。</p> <p>(原因) 各学校での道徳授業や人権教育懇談会等の取り組みによる成果が表れていると考えられます。</p>						

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
4,822	4,879

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる社会を実現します。

基本事業の成果状況と評価

指標	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【企画財政課】	%	26.5	25.1	22.2	30	(横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は22.2%であり、平成28年度より2.9ポイント減少しましたが、統計誤差の範囲と考えられます。前期目標値である30%に届かなかったこと、基準値より4.3ポイント低くなっていることからあまり順調ではありません。</p> <p>(原因) 30代では、平成28年度の12.7%と比べて約10ポイント高い21.3%と向上していますが、20代では平成28年度の40.0%と比べ、約30ポイントも低い10.5%となっています。仕事や結婚を経験し、学校で学んだこととのギャップを感じていることが原因と思われます。</p>					目標達成度 (中)	

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
8	26

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 18歳未満の子供及び65歳以上の高齢者	基本事業がめざす姿 子どもや高齢者が、人権が侵害されることなく安心して生活することができます。
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	要保護児童等の支援による解決率	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
①	【人権啓発室】	%	50	50.0	17.6	40	(低下)
評価	(状況) 平成29年度のケースの終結割合は17.6%で、前年に比べて32.4ポイント減少しており順調とはいえません。基準値からも22.4ポイント減少しており、前期目標値の40%には届くことができず、大きく低下しました。 (原因) 新規ケースが増加したこと、古くから解決できていない困難事案が、依然多く残っているためです。						目標達成度 (低)
指標	高齢者の人権が侵害された件数	単位	基準値	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
②	【高齢者支援課】	件	7	8	6	7	(横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は6件で前年度に比べ2件減少しています。また、基準値、前期目標値に対しても1件減少しており、前期目標に達しています。 (原因) 高齢者を取り巻く関係機関、警察、医療機関との連携及び地域住民への相談窓口の周知が図られてきたことにより、侵害と捉えられる前に初期対応ができてきたため減少したと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事業のコスト (千円)

H28	H29
1,714	1,736

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

H28	H29
7,797	7,057